

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 1 1996.8.21

☆☆☆新生福井高専初勝利を飾る☆☆☆

練習試合：8月20日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生商業	0	0	0	0	1	3	0	1	0		5
福井高専	1	2	0	0	3	0	0	3	×		9×

試合経過

ジャンケンに勝って後攻を取った高専は、初回内田が無難な立ち上がりをみせた。そしてその裏先頭の津持がライト前へ運ぶとすかさず佐野が送りバント。そしてこれを3番大崎がこれもライトへのヒットで先制した。2回も先頭音野がヒット、レフトがもたつく間にセカンドへ。かせ田が送って、石田が初球を三塁線へ。これを相手サードが後逸して2点目。内田が高めの球を転がして石田を2塁に進め、津持が左中間へタイムリー。この後、3回4回は相手投手が立ち直ったかに見えたが、大山のエラーで1点を失った5回、津持のバントヒット、佐野がきれいにライト前へ運んで、大崎の送りバントがエラーを誘い2点追加。さらに宇野のセンターオーバーのエンタイトル2塁打。西村、かせ田倒れて2死後、エラーした大山がしぶとくライト前へ。音野がスタート悪くこの回は3点止まり。1点差に迫られた8回には1死後津持ヒット、佐野の送りバントの2死2塁のチャンスにまたまた大崎が「新聞男」の異名のとおりセンターオーバーへだめ押しの2ラン。さらに宇野のあたりそこねの内野安打とエラーのチャンスに5番西村がライト前へ。これで計9点。理想的な先制、中押し、だめ押しのパターンで、新チームの初戦を飾った。内田は中盤球が高めに浮いたところを、武生商業の中軸打線に捕まったが、制球よく2四球で完投した。高専はしぶといバッティングがみられ14安打を放ったが、高めのボール球に手を出す場面も見られ、守備の細かなミスとともに今後の課題となった。4番宇野は、相手マークにあい、きびしい攻めを受けたがそれを跳ね返さないと夏の勝利はない。

試合の反省点

津持：6回先頭打者で2-2からの高めのボール球につられたこと。堀、野口：テキサスヒットを防ぐための守備練習をする必要がある。森松：甘い球を打ち損じることがないようにミートする練習をする。梅村：ボールボーイやバット引きをきちんとする。西村：チャンスでヒットが打てない場面があった。大山：5回の守備でエラーをしたこと、緊張しない。内田：スタミナ切れをしたこと。音野：中継プレーを正確にする。佐野：止めたバットにボールが当たりヒットになった、2ストライクからの高めの球を振ってしまった、9回にエラーがあったが勝利を焦らない。石田：打席でボールについていけなかった、打球の正面に早くはいる。かせ田：大事な場面での凡退があった、8回1死1、2塁で逆転のランナーを活かしてしまった。宇野：4番打者を意識しすぎた、配球が単調になった、記録に残らない細かな守備のミスをなくす。大崎：2回裏のチャンスでつなげなかった、残塁を少なくする。酒井：バント練習の成果が出た

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	5	4	3	1	5			1					1		0.800
2	6	佐野	5	2	2	1		2					2		1		1	1.000
3	8	大崎	5	4	2	1	3	5	1			1	1					0.500
4	2	宇野	5	5	2	2		3			1							0.400
5	9	西村	5	5	1		1	1								2		0.200
6	47	音野	5	4	1	1		1										0.250
7	3	かせ田	4	3	1			1					1				1	0.333
8	7	石田	2	2		1										1		0.000
	4	大山	2	2	1		1	1							1	1		0.500
9	1	内田	4	3									1			1		0.000
		計	42	35	14	9	6	19	1	0	2	1	5	0	2	6	2	0.400

次の試合までの練習目標

- ・バントを確実に決めれるようにする
- ・選球眼をよくする
- ・カットプレーの練習
- ・スタミナをつける
- ・エラーをした際のバックアップ

ベンチで気づいた点

- (1) 内野手とくに1塁手の守備位置が前過ぎる
- (2) 大崎：スライディングが近い
- (3) 相手の4番をマークせよ
- (4) フライの取り方(1塁手)両手
- (5) レフトの打球の判断
- (6) ベースコーチの重要性・・・ベンチから指示しない
- (7) 第2リードを大きく(セカンドランナー)
- (8) 高めのボール球を振らない
- (9) 投手のボーク
- (10) 牽制球の重要性(相手の作戦の意図を探る)
- (11) 中継の送球
- (12) 下半身の強化
- (13) この1点の重要性(攻撃・守備)

RUSSEN



RUSSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 2 1996.8.27

☆☆☆鯖江市長旗1 回戦を突破☆☆☆

練習試合：8月24日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生工業	0	0	0	0	1	2	0				3
福井高専	0	4	3	3	0	0	×				10×

試合経過

新チーム初の公式戦となった鯖江市長旗、練習試合不足による緊張感がチームを包み込む。相手は武生工業だがシートノックからあちらも緊張気味。初回を内田が3者凡退に切り抜けた。その裏、津持がラッキーなヒットで出塁。続く佐野はストライクバントを慎重になりすぎて、見逃しの三振。津持がサインの間違で盗塁死。大崎が四球で出るも、盗塁を焦って牽制で刺され、チャンスの目を膨らますことはできなかった。しかし、2回に宇野の四球のあと、西村がライト前へ初ヒット、音野の犠牲バントが内野安打となってかせ田が先制のタイムリーヒット。内田、森下が倒れて二死となったが、津持がライト前、佐野がレフト前へしぶとくつないで計4点。これで緊張がほぐれて3、4回にも3点ずつを追加した。とくに3回には犠牲フライが2本という世界タイ記録。西村のヒットエンドランの成功。4回も相手のミスにつけ込んで音野の2塁打を含む2安打で3点と効率よく攻めた。これでコールドと思われた5回表、後一人の所でワイルドピッチで1点を失うと、その裏の1死3塁のサヨナラのチャンスに大崎凡退、宇野敬遠、西村凡退。それが6回の2失点へと結びついていく。決めるところで決められなかった所に課題が残る試合であった。しかし、結局10-3、7回コールドで武生工業を退け、2回戦へと駒を進めた。

試合の反省点

佐野：初回の攻撃でのバントミス。あれは絶対に決めなければならない。守備の面で5回1死後またも自分がエラーしてしまった。あれをアウトにしていれば5回コールドで終わっていた。その後3点を取られ7回までいったことから1つのエラーの大きさを改めて思い知らされた。前の試合の反省がいかされていなかった。宇野：5回に勝ちを意識してエラーが出たこと。バントで送りたいときに確実に送れなかったこと。内田が勝ちを意識して球が甘くなったこと（5、6回）津持：5回コールドのはずがエラーで7回までいき内田に申し訳ない。初回にバッティングチャンスでの飛球、結果的にはヒットになったがまずいバッティングだ。大崎：ボール球に手を出した。バントが決まっていなかった。内田：6回にまたまた捕まった。1打席目は打ち急いでしまった。相手のヤジに動揺が隠せなかった。かせ田：相手バントの処理の際に、前進せずに投手に任せてしまった。1、2打席ヒットだったので3、4打席目は調子に乗りすぎた。バントを確実に決められなかった。絶好球を見逃してしまった。追い込まれてからカーブに手が出なかった。梅村：5回のバッテリミスは勝ちを意識してしまった。打つ方はよろしい。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	4	4	3		1	4			1							0.750
2	6	佐野	4	3	1	1	1	1					1		1	1		0.333
3	8	大崎	4	2		1											2	0.000
4	2	宇野	4	1	1	3		1				1					3	1.000
5	9	西村	4	4	2	1		2										0.500
6	4	音野	4	3	2	1	2	3			1			1				0.667
7	3	かせ田	4	4	2	2	1	3			1					2		0.500
8	1	内田	4	3	2	1	2	2						1				0.667
9	7	森下	2	2	1		1	1								1		0.500
	7	野口	2	2														0.000
		計	36	28	14	10	8	17	0	0	3	1	1	2	1	4	5	0.500

次の試合までの練習目標

- ・バントを確実に決めれるようにする（100%）
- ・守備でも攻撃でも冷静に状況判断ができるようにする
- ・集中力を持続できるようにする
- ・バッティング技術の向上・左投手を攻略できるようにする
- ・練習も緊張感をもって行う
- ・精神面を鍛える
- ・いろんな状況に対応できるようなノック
- ・選球眼をよくする
- ・カットプレーの練習
- ・スタミナをつける
- ・エラーをした際のバックアップ

ベンチで気づいた点

- (1) 試合前の練習：体調を整え緊張感をほぐす
- (2) 大崎：チャンスで力まない
- (3) 気持ちの切り替えが大事：投手も野手も
- (4) 相手の打順間違いを指摘できなかった（スコアラー）
- (5) 残塁が多い。
- (6) この1点の重要性を考える
- (7) 第2リードを大きく（セカンドランナー）

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 3 1996.8.27

☆☆同点に追いつくもエース打たれ完敗☆☆

練習試合：8月25日 於鯖江西山野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生高校	3	0	2	0	0	1	0	4	1		11
福井高専	0	0	0	0	2	1	3	0	0		6

試合経過

この試合は前日勝って、もう1つという気負が見られた。武生は部員の数、投手力、守備力、試合経験とも高専を上回っていたのは事実である。ただ、自分たちの力(勇気、自信、判断力、集中力)が100%発揮できればなんとかなる。しかし、先発宇野・音野のバッテリーは初回ふと気がつく3連続の四球、盗塁もフリーパス。さらにワイルドピッチと4番には投げてはいけない高めを痛打されあつと言う間に3点、3回にも高めに浮いたところ3本の2塁打で2点を失い、早くも5-0となる。攻撃も2回まで、制球の善い橋本を積極的に攻めるがいいあたりが野手の正面をつく。3回には簡単に3者凡退。4回には1死から野口の2塁打で2、3塁のチャンスも後続なし。また、5回、津持のバントが小飛球、石田の判断悪くセカンド封殺。このままいくかと思われた。しかし、ここで主将の佐野が起死回生の3塁打。一気に流れを高専に引き寄せた。前日不振の大崎が粘ってセンター返し。6回には2死から下位打線の3連打で1点、そして7回には佐野、大崎の連打、宇野の犠牲フライ、替わったエース池田から西村三振のあと音野のサードゴロをサードがはじいて同点。さらにショートへの内野安打。明らかに武生守備陣は浮き足立っていた。しかし、内田は0-3から三振にたおれ、武生は踏ん張った。ここで内田の気持ち切り替わらない。チャンスに打てなかった気持ちのままカウントを取りにいった所を替わった池田が右中間へ2塁打。1死1、2塁から相手主将のタイムリー。この時点でT.K.O. エースの投打の対決に破れ、味方ミスにエースが踏ん張れず高専は決勝へは進出できなかった。1、4、6番がノーヒット。一度は同点に追いついた好試合。ゲームを楽しむことを味わった。次は勝利を味わうコツをつかもう。

試合の反省点

佐野：攻撃では2死から粘りのあるバッティングができた。7回には相手のミスにつけ込んで同点に追いついたのはすごかった。ただ、武生のエース池田の速球と変化球に手も足もでなかったのは悔しかった。守備では外野の判断ミスがいくつかあった。しかし、1塁側のバント処理がミスなくできたことは練習の成果である。宇野：初めての先発だったとはいえ、立ち上がりあまりにもわるかった。勝負時のここ1球を痛打されてしまった。(8回)かせ田：2死2、3塁のチャンスに三振してしまった。高めのつり球に引っかかって三振してしまった。前半は完全に相手にのまれてしまった。内田：4番を打ち取ったあとに気をぬいて打たれた。低めに球が決まらなかった。高めが多かった。大崎：速い球についていけなかったこと。フライの判断。津持：球種がわかっていながら打ち損じてしまった。チャンスで回ってきたとき、0-3からのボール球をストライクと判定され集中力が切れた。2回何でもないゴロをエラーした。森松：点を取られはしたがねばり強く食らいついていた。西村：チームのムードが良くなってきたとき自分のエラーで相手にチャンスを与えてしまった。そのランナーが得点につながる場面が2回あった。梅村：先制点を取られながら終盤追いついてよかった。しかし、長打をうたれたのが痛かった。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	5		1									1			0.000
2	6	佐野	5	5	2	2	1	4		1						1		0.400
3	8	大崎	5	5	2	1	1	2								1		0.400
4	1	宇野	5	3										1		1	1	0.000
5	7	野口	5	5	2	1	1	4			2					1		0.400
6	9	西村	5	4												2	1	0.000
7	2	音野	4	4	3	1	1	4										0.750
8	3	かせ田	4	4	2			2								2		0.500
9	4	大山	1	1														0.000
	PH	石田	1	1														0.000
	1	内田	2	2	1		1	1								1		0.500
		計	42	39	12	6	5	17	0	1	2	0	0	1	1	9	2	0.308

次の試合までの練習目標

- ・もっと速球についていけるように打力を身につける
- ・変化球にも慣れる
- ・右への打撃を徹底する
- ・球を引きつける
- ・ピンチの時に相手に負けない精神力や気合いを身につける
- ・全員の走力アップ
- ・外野の打球に対する判断
- ・控え投手の育成
- ・球速を早くする
- ・緊張感をもって練習
- ・勝ち急がない精神力を身につける
- ・1球1球気合いを入れて練習する

ベンチで気づいた点

- (1) ゲームの流れを理解して相手の流れではより慎重に
- (2) チャンスでの打撃
- (3) 速球に対する対応
- (4) 外野の守備
- (5) 牽制球の重要性 (相手の作戦の意図を探る)
- (6) この1点の重要性 (攻撃・守備)

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 4 1996.8.28

☆☆各地区市長旗の結果出る☆☆

秋季大会への展望

おそらく第1シードは福井商業であろう。第2シードは好投手篠原を擁する福井か敦賀気比か？第4シードには北陸あたりか。福井地区のレベルが高そう。甲子園帰りで新チームの練習も十分でなかった福商が福井市長旗を制した。投手陣は流動的だが打力が上回る。気比はエース三上が残り、打撃陣も充実している。その他の地区では武生高校がまとまっている。大野あたりも力は上位。福井戦で大敗した足羽は投手力が課題か。それに続くのが、科学技術、高志、鯖江、敦賀工業、敦賀、勝山、若狹、金津、武生商業あたりか？

通算成績

順位	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	音野	13	11	6	3	3	8	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.545
2	津持	14	14	7	4	2	9	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0.5
3	佐野	14	10	5	4	2	7	0	1	0	0	3	0	2	2	1	0.5
4	森下	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.5
5	かせ田	12	11	5	2	1	6	0	0	1	0	1	0	0	4	1	0.455
6	内田	10	8	3	1	3	3	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0.375
7	大崎	14	11	4	3	4	7	1	0	0	1	1	0	0	1	2	0.364
8	宇野	14	9	3	5	0	4	0	0	1	1	0	1	0	1	4	0.333
9	大山	3	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.333
10	野口	7	7	2	1	1	4	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0.286
11	西村	14	13	3	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0.231
12	石田	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
13	森松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14	森永	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	梅村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	堀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		120	102	40	25	19	53	1	1	7	2	6	3	4	19	9	0.392

KODEN



KODEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 5 1996.9.26

☆☆7点リード守れず☆☆

練習試合：9月7日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	2	5	0	0	0	0	0	0	1		8
武生工業	0	4	0	0	2	0	1	0	1		8

試合経過

武生工業は鯖江市長旗でコールド勝ちした相手。エース内田は数日間休暇をとり、練習不足。音野でスタートする。2回表に打者一巡で5点を奪い、7-0と試合を決めたかに思えた。しかし、主将をはじめ相手をなめてかかるとどうということになるか。夏の大会の経験が生かされていない。夏の大会ではいまだに2回戦を突破できない高専こそ相手チームになめられているということ。相手監督は秋の大会に向けチーム作りに必死である。あえて、左の石本を続投させる。そして、その期待に応え、石本は以後無得点に抑えるのである。一方、音野はその裏、三四球と制球をみだし、簡単に4点を奪われる。5回は味方エラーにワイルドピッチで応える。7回には再び三四球で同点に追いつかれる有様である。攻撃ではスローボールを簡単に打ち上げ、試合は引き分けたが、何とも元気のない情けない内容であった。3盗塁を許したバッテリーワークにも課題がある。

試合の反省点

今回は音野選手しかレポートを提出しなかった。これがいままでの本校野球部のやる気のなさを象徴している。やったらやりっぱなし。主将と大崎は当日のグラウンド整備に遅れ、2年生としての自覚に全くかける。昔、前日雨が降り、朝、相手チーム（丹生高校）が、先に来てグラウンド整備をしていた風景が目につく。情けない限りである。

音野：スクイズのサインを見逃した。エンドランの時に打ち上げてしまった。チェンジアップはうまく使えたがストレートのコントロールの悪さが目立った。投手の動きがまだしっかりできずホームのベースカバーなどがお粗末であった。牽制のサインを見逃したり、サインミスが多かった。後半少しバテて集中力が切れた。チーム全体としては元気がなかった。リズムに乗れなかった。（音野君：多くの反省ありがとう）

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	6	佐野	5	3	1	2		2			1					1	2	0.333
2	5	津持	5	4	1	1	1	2			1		1		1			0.250
3	2	宇野	5	5	1	2		1										0.200
4	7	野口	5	4	1	1	1	1									1	0.250
5	1	音野	5	4	1	1	2	1									1	0.250
6	9	西村	5	4	1			2			1						1	0.250
7	8	堀	5	4	1		2	3				1					1	0.250
8	3	かせ田	3	3	0											2		0.000
	3	石田	0	0	0													
	PH8	大崎	1	1	0													0.000
9	4	大山	3	3	1	1		1							1			0.333
	PH	内田	1	1	0													0.000
	1	森下	0	0	0													
		計	42	35	8	8	6	13	0	0	3	1	1	0	2	3	6	0.229

	選手名	打率	選手名	打点	選手名	本
1	森下	0.500	音野	5	大崎	1
2	音野	0.467	大崎	4		
3	佐野	0.462	津持	3		
4	津持	0.444	内田	3		
5	かせ田	0.357				

次の試合までの練習目標

・もっと速球についていけるように打力を身につける
 ・変化球にも慣れる・右への打撃を徹底する・ピンチの時に相手に負けない精神力や気合いを身につける・全員の走力アップ・外野の打球に対する判断・控え投手の育成・球速を早くする・緊張感をもって練習する・勝ち急がない精神力を身につける・1球1球気合いを入れて練習する 音野：スタミナをつける。コントロールをつける。ベースカパー。エンドランの練習・バントを確実に。精神面のトレーニング

ベンチで気づいた点

- (1) 大量リードに気を抜くな (2) チャンスでの打撃 (3) スローボールに対する対応
- (4) サインミス (5) 牽制球の重要性 (相手の作戦の意図を探る)
- (6) この1点の重要性 (攻撃・守備)

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 6 1996.9.26

☆春工と1勝1敗2試合目はお疲れ? ☆

練習試合：9月15日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
春江工業	1	0	0	2	0	0	1	0	0		4
福井高専	0	0	1	4	1	0	5	1	x		12

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1
春江工業	2	0	3	0	0	0	0	1	x		6

試合経過

春江工業は初回エラーのランナーを確実にバントで送り、3番池端のヒットをレフトがもたつく間に1点を先制した。高専はその裏、2番佐野が右中間へ3塁打を放つも、3塁ベースコーチの判断ミスでホームでアウト。クリーンナップへつながる場面だけに無理をさせるべきではなかった。しかし、3回無死1・2塁で宇野のバントミスが小飛球となり捕手がこの処理を誤り、無死満塁のチャンスに西村の内野ゴロで同点。さらに、エラーで失った2点を、内田の2塁打を足がかりに、相手のワイルドピッチ、大崎のタイムリー2塁打、宇野の犠牲フライで逆転した。5回にも内田の2塁打から津持の犠牲フライで1点を追加。7回には内田のホームランなどで一挙に5点を奪い勝負を決した。14安打、7四死球で12点と攻めたが、相手にも11安打を許し、外野のミスも多く、大味の試合となった。

続く第二試合は、相手が全員1年生となり、高専も1年生投手森下を立てたが、初回、3回と連打を浴び、5点を失い、2番手森永も8回にだめ押しのタイムリーを喫した。中盤森下が立ち直っていただけに、初回に宇野の2塁打で上げた1点のみに終わった打線に不安が残る。とくに相手投手のスローボールに全くタイミングが合わず、飛球アウトが13と課題を残した。投手陣もコントロールが甘く、ファーストストライクを痛打されるケースが多かった。

次の試合までの練習目標

- ・もっと速球についていけるように打力を身につける
- ・変化球にも慣れる・右への打撃を徹底する
- ・ピンチの時に相手に負けない精神力や気合いを身につける
- ・全員の走力アップ・外野の打球に対する判断
- ・控え投手の育成・球速を早くする
- ・緊張感をもって練習する
- ・1球1球気合いを入れて練習する
- ・劣勢になっても元気を出す

ベンチで気づいた点

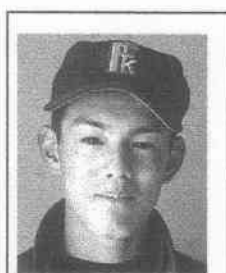
- (1) 大量リードに気を抜くな
- (2) チャンスでの打撃
- (3) スローボールに対する対応
- (4) サインミス
- (5) 牽制球の重要性 (相手の作戦の意図を探る)
- (6) この1点の重要性 (攻撃・守備)
- (7) キャッチャーのリード
- (8) 初球の入り方

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	6	5	1	2	1	1						1				0.200
2	6	佐野	5	2	1	2		3		1			1		1			0.500
3	8	大崎	5	2	1	2	1	2			1	1			1		2	0.500
4	2	宇野	5	4	2		3	2					1	1			2	0.500
5	7	野口	5	4	1		1	1				1			1	1	1	0.250
6	9	西村	5	4	1	2	1	2			1				2		1	0.250
7	3	かせ田	5	5	1	1		1				1			1		1	0.200
8	1	内田	5	5	4	3	3	9	1		1						1	0.800
9	4	音野	5	3	2			2									2	0.667
		計	46	34	14	12	10	23	1	1	3	3	2	2	6	1	10	0.412

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	4	1	1		1							1		1	0.250
2	6	佐野	2	1									1					0.000
	64	音野	2	1													1	0.000
3	8	大崎	4	3	1			2			1	1					1	0.333
4	2	宇野	4	3	1		1	3		1							1	0.333
5	9	堀	4	4														0.000
6	7	石田	3	2													1	0.000
	PH3	西村	1	1														
7	3	かせ田	3	2	1			1					1		1			0.500
	PH7	野口	1	1														
8	1	森下	4	2											1	1		0.000
9	4	大山	3	3														0.000
	1	森永	1	1														
		計	36	27	4	1	1	7	0	1	1	1	2	0	3	1	5	0.148

	選手名	打率	選手名	打点	選手名	本
1	内田	0.500	内田	6	内田	1
2	音野	0.474	音野	5	大崎	1
3	佐野	0.438	大崎	5		
4	津持	0.370	津持	4		
5	大崎	0.353	宇野	4		



内田選手

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 7 1996.9.26

☆☆秋季大会は君たちにまかせた☆☆

練習試合：9月16 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生東	0	0	0	1	0	0	2				3
福井高専	4	5	7	5	0	0	x				21

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
科学技術	1	0	1	0	0	2	1	0	0		5
福井高専	1	0	1	2	1	2	0	4	x		11

試合経過

武生東戦は、第二エースの音野。前回の反省を胸にコントロールに注意し丁寧に投球する。スピード制球ともまずまずで、勝ちを急いだ7回以外はほぼ完璧なピッチング。これで攻撃にリズムが生まれる。4回までに21点。とくに、3番に座った宇野は2本塁打1三塁打と絶好調。五番大崎も三安打、4番野口は絶妙のセーフティバントを決めた。下位打線の森下、大山は犠打とタイムリーと打線のつながりに一役かった。(相手の武生東は、秋季大会初戦を突破する。)

続く第二試合は宿敵科学技術高校である。これが高専にとっては秋季大会代わりの試合となる。福井市長旗では羽水高校にコールド勝ち、福井商業に11-4と健闘している。試合は一進一退のシーソーゲーム。しかし、四回2死2・3塁から3番に定着した宇野のバットがこの試合も火を噴いた。右中間を深々と破る3塁打。さらに、1点差に詰め寄せられた6回にもレフトへ2ランホームラン。8回には、その宇野が敬遠されたあと、野口の犠牲フライと大崎のタイムリー、西村の内野安打で4点を奪い勝利を決定づけた。4回以降は先手を取る試合運びで勝利を手中にした。内田も味方のエラーに足を引っ張れるシーンも見られたが6安打2四球完投のナイスピッチングであった。しかし、2本の長打はいずれも初球の甘い球、やはりこの試合でも課題として残った。

今後は宇野へのマークは相当厳しくなるであろう。ボールの見極めや、外角球の対応、足を活かした攻撃で相手を攪乱するのが良いであろう。また、前後の打線が工夫して、宇野マークの負担を軽減することが大事である。また、秋の大会で他のチームは相当レベルアップして来るであろうが焦らず、より厳しい練習を消化することで成長し、そして自信をつけることが重要である。

次の試合までの練習目標

・もっと速球についていけるように打力を身につける・変化球にも慣れる・右への打撃を徹底する・ピンチの時に相手に負けない精神力や気合いを身につける・全員の走力アップ・外野の打球に対する判断・控え投手の育成・球速を早くする・緊張感をもって練習する・勝ち急がない精神力を身につける・1球1球気合いを入れて練習する 音野：スタミナをつける。コントロールをつける。ベースカバー。エンドランの練習・バントを確実に。精神面のトレーニング

ベンチで気づいた点

(1) 大量リードに気を抜くな (2) チャンスでの打撃 (3) スローボールに対する対応 (4) サインミス (5) 牽制球の重要性 (相手の作戦の意図を探る) (6) この1点の重要性 (攻撃・守備)

スコアブック

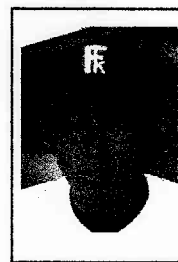
打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	6	4	2	3	3	2				1		1	1		1	0.500
2	1	音野	5	2	2	3	2	2		1			2				1	1.000
3	2	宇野	5	5	3	3	7	11	2	1								0.600
4	7	野口	5	4	2	2	1	2				1				1	1	0.500
5	8	大崎	4	4	3	4		3				2						0.750
	PH3	石田	1														1	
6	9	西村	5	4	2	2	1	2									1	0.500
7	3	かせ田	4	3	1	1	2	2			1			1				0.333
	PH8	堀	1	1														
8	6	森下	5	3		2							1			1	1	0.000
9	4	大山	5	4	1	1	2	2					1			1		0.250
		計	46	34	16	21	18	26	2	2	1	4	4	2	1	3	6	0.471

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5			3							2		4		3	0.000
2	6	佐野	5	3									2		2	2		0.000
	6	森下																0.000
3	2	宇野	5	4	3	3	3	8	1	1		1					1	0.750
4	7	野口	5	3	1		2	2			1			1		1	1	0.333
5	8	大崎	5	4	2	2	1	2					1					0.500
6	4	音野	5	2	1		1	1				2	1				2	0.500
7	9	西村	5	4	1		2	1						1				
8	3	かせ田	4	4	2	1		4			2					1		0.500
9	1	内田	4	2	1	2		1					1		1		1	0.500
		計	43	26	11	11	9	19	1	1	3	3	7	2	7	4	8	0.423

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.522	宇野	14	宇野	3
2	内田	0.500	音野	8	内田	1
3	大崎	0.440	津持	7	大崎	1
4	宇野	0.433				
5	津持	0.387				



宇野選手



音野選手

ROUSEN



ROUSEN

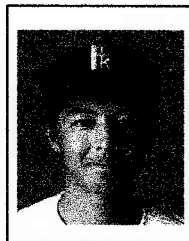
愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 8 1996.9.26

☆☆秋季大会速報ベスト8でそろそろ☆☆

シードの抽選は各校の監督の投票で行われた。第1回の投票で敦賀気比と福井が満票の30票、福井商業が29票であった。おそらく福井商業は自校を投票しなかったのであろう。再投票の結果23-7で敦賀気比が第1シードとなった。第4シードは丹南地区から鯖江高校が選ばれた。北陸、大野、武生あたりの名前が挙がっていた。各校、新チームの練習試合の結果を持ち寄った。そのうちの県内分を対戦表としてまとめたものが別表である。気比、福井は県外強豪チームと対戦が多く、気比は我が母校と3-1、8-8と1勝1分であった。福井商業は甲子園帰りで県内との対戦が主であった。9月23日ベスト8が出そろった。練習試合で勝っている武生商業が入った他、シードはすべて危なげなく勝ち上がった。とくに気比、福井商業は全くスキがない。本校に練習試合で3-2 1xと敗れた武生東の健闘にはびっくりである。でていればと残念である。

リードオフマンの
津持選手、得点と
失策王に輝く。



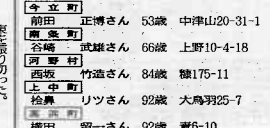
首位打者の音野
選手（中央）と
2冠の宇野選手
（右）

通算成績（5勝2敗1分：内公式戦1勝1敗）

順位	選手名	打席	打数	安打	得点	打点	塁打	本	3 塁	2 塁	盗 塁	犠 打	犠 飛	失 策	三 振	四 死	打率
1	音野	35	23	12	7	8	14	0	1	2	3	3	1	0	0	7	0.522
2	内田	20	16	8	6	6	13	1	0	1	0	2	1	1	2	2	0.500
3	大崎	33	25	11	11	6	16	1	0	2	5	2	0	1	1	5	0.440
4	宇野	38	30	13	13	14	29	3	3	1	4	1	2	0	1	8	0.433
5	津持	41	31	12	14	7	15	0	0	3	1	3	2	8	1	5	0.387
6	佐野	31	19	7	8	2	12	0	2	1	0	7	0	5	5	3	0.368
7	かせ田	31	28	10	5	3	14	0	0	4	1	2	1	2	7	2	0.357
8	野口	28	23	7	4	6	10	0	0	3	3	0	1	1	4	4	0.304
9	西村	35	30	8	5	5	10	0	0	2	0	0	1	2	4	4	0.267
10	大山	14	13	3	2	3	4	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0.231
11	森下	11	7	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0.143
12	堀	10	9	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.111
13	石田	7	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.000
14	森松	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
15	森永	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
16	梅村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
		335	260	93	78	63	141	5	6	19	17	22	9	23	31	44	0.358

.....

1996年(平成8年)9月23日(月曜日) 福井市内(20)

[illegible]

新吉	佐伯さん	62歳	下野山田28-152
加	ハナエさん	70歳	北山田22-19
加藤	弘さん	76歳	北山田45-51
賀屋 南市	美佐さん	81歳	相生町17-17
山田	と恵子さん	72歳	松葉町15-104
小吉田			
高松	綾子さん	72歳	生34-3
三浦 幸子	友博さん	52歳	錦3-6-28
栗屋 町田			
田中	正壽さん	94歳	田中4-1-11
鈴木	徳二さん	84歳	鳳凰1-201
栗屋 町田			
伊藤	良子さん	69歳	市姫2-83
丸岡 町田			
吉岡	守さん	74歳	吉政34-6
森 江田			
北沢 吉田	エさん	96歳	西長田23-26-1
清水 水田			
西山	昇さん	86歳	クレーンハイツ1-1
池田 町田			
池田 町田	いさん	82歳	グランド18-2
森 町田			
工藤	哲夫さん	65歳	堀16-16-1

前田	正博さん	53歳	中津山20-31-4
南 生野			
合端	水雄さん	86歳	上野10-4-18
河 幸村			
西坂	竹造さん	84歳	鶴175-11
上 中町			
拾景	リツさん	92歳	大鳥羽25-7
三 町			
横田	留一さん	92歳	青6-10

8th
KUCHI
MARUBO
STORY

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 9 1996.10.4

☆☆ 5点差を逆転☆☆

練習試合：9月29日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生商業	3	2	0	0	1	0	0	1	0		7
福井高専	0	4	0	1	0	4	0	1	×		10

試合経過 (by 宇野元喜)

先発の森下は初回1番を三振に取り、この調子でいくかと思われたが、次打者に中前にはじかれ、四球のあと、4番にストライクを取りに行った初球を2塁打され2点を先行された。この場面は四球の後でストライクが欲しいとはいえ相手は4番打者なのでボール球を使うか変化球から入るべきである。その後も右前、左前の打たれ計3点を失った。2回には先頭打者を四球で出し、2塁打、ワイルドピッチで2点を失い、このままずる点を取られるかと思われた3回は3者凡退に切り、4回は運も味方に付き0点に押さえた。5回は3塁打の後スクイズを無警戒で簡単に決められ8回には左翼手石田のエラーで1点ずつを失った。9回には先頭打者死球の後、次打者に右前にヒットされピンチを迎えた。ここで向かえた打者は3番で3球目の球をジャストミート。ベンチそして投手の森下、捕手の梅村をはじめほとんど全員が「やられた」と思った瞬間、3塁手津持が体をうまくよせてこれを好捕してベースを踏んで1塁へ、これでゲッツー。このプレーでに助けられた森下は次打者を左飛に打ち取った。また、森下は与四死球が9つあり投球数が147球を数えたが、3回以降変化球を交えて相手のタイミングを外して凡打の山を築かせた。そして、今日初めてマスクをかぶった梅村は経験不足からはじめは配給ミスが多かったが、回を追うごとにリードがさえた。また、ショートバウンドを後ろへ逸らすことが少なく、2日間で200球近く受けた、ショートバウンドの成果が表れていた。攻撃面では、初回津持が四球、大山バントで1死2塁のチャンスを作ったが3、4番が連続三振に打ち取られた。しかし、2回先頭の西村が右前にはじき相手右翼手が後逸し、一気にホームを陥れた。これで流れが高専に向いた。石田、梅村の連続ヒットで満塁とし、森下の併殺崩れの間に1点、大山のセカンドゴロエラーの間に2点を追加し、1点差とした。4回には野口の左中間2塁打で同点に追いついた。こうなれば高専のベース。勢いは止まらず6回には打者10人を送り込み5安打で4点を奪い、8回にも西村の3塁打が出て1点を追加し試合を決めた。この試合は15安打とよく打ったが、とくに単打が13と大振りせずコツコツとよくつないだ。1年生大会での活躍を期待している。ただし、石田、津持の両名は出番はないであろう。

試合の反省点

佐野：ピッチャーの立ち上がりが悪い。タッチにいったとき1回で終わらず、手が離れていないか確認する。外野手の打球の追い方が悪い。つぎの塁を狙うつもりで走っていない。内田：四球が多い。津持：自分が打てなかった分を9回の守備で取り戻せた。2塁から1本のヒットで帰れない（足が遅い）。第2リードをしっかりと取る。相手のクリーンナップを警戒する。守備位置も変える。常に状況を把握し、つぎのプレイを考える。かせ田：元気がなかった。梅村も自信をもって大きな声で指示をする。宇野：捕手が投手にしっかりと返球する。守備の時足が止まっているので打球を追うときの1歩が遅い。バッテリーの配給（四球の後の入り方）。走力が足りない。全員声が出ていなかった。（大山は主将としてもっとチームを引っ張る）打球に対する捕手の指示。ファウルボールを投手に追わせた。捕手は投手の負担を考えて自分が取りに行く。アウトカウントが頭にはっていない。投手の各塁のベースカバー。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	2		1							1				2	0.000
2	4	大山	5	4	1	1	1	1					1					0.250
3	9	横田	5	2	1	1		1							1	1	3	0.500
4	6	野口	5	5	2		1	3			1					1		0.400
5	3	西村	5	5	3	2	2	5		1						1		0.600
6	8	堀	5	5	2	1		2										0.400
7	7	石田	5	5	3	1	1	3							2			0.600
8	2	梅村	5	5	1			1										0.200
9	1	森下	4	4	2	3	1	2										0.500
		計	44	37	15	10	6	18	0	1	1	0	2	0	3	3	5	0.405



堀選手



西村選手



梅村選手



森永選手



森下選手

次の試合までの練習目標

- ・まず、声を出す
- ・走力アップのためのダッシュを各自自主的に行う
- ・梅村はキャッチボールの時からしっかりした送球を行う
- ・ベースカバーを練習する
- ・バッテリーの投球練習でコミュニケーションを行い、意志の疎通をはかる
- ・また、配給も状況を考えてする（先輩・監督に聴く）
- ・梅村はノックの時から絶えず大きな声で指示をする（練習で自信をつける）
- ・常に足を動かし、打球に対しての1歩目を早くする
- ・シートバッティングのとき守備の方も攻撃の方もアウトカウントを頭に入れておく
- ・2塁牽制の練習
- ・カットプレーをスムーズに行うようにする

1年生大会は10月6日 10時から
対戦相手は宿敵羽水高校だ

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 10 1996.10.14

☆☆羽水継投で逃げ切る☆☆

練習試合：10月6日 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
羽水高校	1	0	2	2	0	0	1	4	3		13
福井高専	1	0	0	0	0	3	0	1	0		5

試合経過 (by佐野善規)

1年生大会、1回戦羽水線。高校を取った高専は初回いきなり1点を奪われるが、その裏すぐに追いつく。3、4回に連打を浴び5-1と差を付けられた高専は4イニング連続3者凡退でこのまま行くかと思われた。しかし、6回裏ランナーを1、2塁において4番野口がレフトスタンドへ運び、5-4と1点差に追い上げた。しかし、急造ピッチャー、荒削りな野手の高専は7、8、9回と得点を許し、結果13-5で完敗だった。一人で頑張った森下だったが後半は疲れが出たようだ。

試合の反省点

佐野：ピッチャーのスタミナと投球練習不足、なれないポジションもあったがエラーが多い。キャッチャーの肩が弱い。

次の試合までの練習目標

- ・まず、声を出す
- ・走力アップのためのダッシュを各自自主的に行う
- ・梅村はキャッチボールの時からしっかりした送球を行う
- ・ベースカバーを練習する
- ・バッテリーの投球練習でコミュニケーションを行い、意志の疎通をはかる
- ・また、配給も状況を考えてする（先輩・監督に聴く）
- ・梅村はノックの時から絶えず大きな声で指示をする（練習で自信をつける）
- ・常に足を動かし、打球に対しての1歩目を早くする
- ・シートバッティングのとき守備の方も攻撃の方もアウトカウントを頭に入れておく
- ・2塁牽制の練習

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	森松	5	3		1									1		2	0.000
2	4	大山	5	2		1							1		1		2	0.000
3	97	横田	4	4	2	1	1	2								1		0.500
4	6	野口	4	4	1	1	3	4	1						2	2		0.250
5	3	西村	4	4	1	1		1										0.250
6	8	堀	4	4	1		1	2			1							0.250
7	1	森下	4	3											2	2	1	0.000
8	2	梅村	3	3														0.000
	PH	阿部	1	1														0.000
9	78	森永	4	4												1		0.000
		計	38	32	5	5	5	9	1	0	1	0	1	0	6	6	5	0.156

RUGBY



RUGBY

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 11 1996.10.4

☆☆全員安打にあと1人☆☆

練習試合：10月10日（体育の日） 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
丹南高校	0	0	0	2	0	0	0	0	0		2
福井高専	3	0	1	0	1	6	0	5	×		16

試合経過

大崎（左腕裂傷）、堀（かかと痛）、森松（右腕骨折）、かせ田（兄の結婚式）、野口（？）の5名を欠く高専は、それでも、準全員安打の猛攻で16点を上げ勝利を修めた。しかし、きびきびした攻守交代やベースコーチ、ブルペン捕手のプロテクター着用など基本的な競技ルールを守れず、反省点の多い試合であった。

初回、相手チームを3本の内野ゴロで切って取り、向かえた裏の攻撃。まず、津持四球のあと佐野がセンターへのライナーの3塁打で先制。さらに宇野も3塁打でつなぎ、音野四球盗塁失敗のあと西村歩いて、ワイルドピッチで3点を奪った。三回、五回にも中軸の活躍で一点ずつを追加。そして、六回打者11人を送る猛攻で6点を追加し勝負を決した。この回、森永が凡退したあと石田が併殺で倒れるまで大山の徹打を挟んで7打数連続ヒットを達成、見事に打線がつながった。8回にも森下、梅村にもヒットが生まれ、大山は残念ながら四球であったが計5点。大山はセーフティーバントなどアイデアをこらしたが、1人蚊帳の外になってしまった。守備では内田が石本のホームランで失った2点以外は危なげなく、また、バックも3併殺無失策と盛り上げ、完投した。一方、高専も3併殺を喫するなどチャンスで左へひっかける場面も見られ、スローボールに対する攻撃も完璧とは言えず、徹底した右ねらいなどの工夫が欲しかった。

けがの3選手の1日も早い回復を祈る。かせ田君おめでとう。野口どうしてるんや？

試合の反省点

佐野：ピッチャーの立ち上がりが悪い。タッチにいったとき1回で終わらず、手が離れていないか確認する。外野手の打球の追い方が悪い。つぎの塁を狙うつもりで走っていない。内田：四球が多い。津持：自分が打てなかった分を9回の守備で取り戻せた。2塁から1本のヒットで帰れない（足が遅い）。第2リードをしっかりと取る。相手のクリーンナップを警戒する。守備位置も変える。常に状況を把握し、つぎのプレイを考える。かせ田：元気がなかった。梅村も自信をもって大きな声で指示をする。宇野：捕手が投手にしっかり返球する。守備の時足が止まっているので打球を追うときの1歩が遅い。バッテリーの配給（四球の後の入り方）。走力が足りない。全員声が出ていなかった。（大山は主将としてもっとチームを引っ張る）打球に対する捕手の指示。ファウルボールを投手に追わせた。捕手は投手の負担を考えて自分が取りに行く。アウトカウントが頭にはっていない。投手の各塁のベースカバー。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	6	5	2	2	1	2									1	0.400
2	6	佐野	6	5	2	2	2	5		1	1						1	0.400
3	2	宇野	6	6	4	4	3	9	1	1		2			1			0.667
4	8	音野	5	4	3	2	2	6		1	1						1	0.750
5	3	西村	5	3	1	1		1									2	0.333
6	1	内田	5	4	2	1	2	3			1						1	0.500
7	9	森永	3	3	1			1							2			0.333
	PH9	森下	2	1	1	1	1	1									1	1.000
8	7	石田	4	4	1	1		1										0.250
	PH7	梅村	1	1	1	1	1	1										1.000
9	4	大山	5	3	0	1							1				1	0.000
		計	48	39	18	16	12	30	1	3	3	2	1	0	3	0	8	0.462

	選手名	打率	打点	本
1	音野	0.556	宇野	4
2	内田	0.500	音野	1
3	p横田	0.500	野口	1
4	宇野	0.472		1
5	大崎	0.440		

次の試合までの練習目標

- ・まず、声を出す・走力アップのためのダッシュを各自自主的に行う
- ・梅村はキャッチボールの時からしっかりした送球を行う

攻守交代はきびきびと

人数が少なくても最低のマナーを守る

練習をさぼらない・練習で強くなる

脚力の強化・マラソン大会めざして（いい機会だ）

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 12 1997.4.1

☆☆春のシーズン開幕☆☆

練習試合：4月1日（エイプリルフル） 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生工業	0	0	0	0	0	0	2	0	0		2
福井高専	2	3	0	2	5	0	0	4	×		16

試合経過

初回、サードゴロエラーの佐野を1塁において宇野が右中間の深いところへランニングホームラン。あっさり2点を先取した。さらに、2回には西村が左中間2塁打、音野のヒットの2安打に四球、エラーを絡めて3点を奪い序盤をリードした。4回にも音野、津持の長打、宇野のタイムーで2点、5回には西村、宇野のランニングホームランが出て、一挙に5点をあげ試合を決定づけた。8回には5番大崎の3ランでだめを押した。しかし、4番かせ田は、気迫が見られず、4打席凡退した。守っては、内田、音野、森永の3投手が相手打線を5安打に抑えた。しかし、制球が定まらず、投球数が多く、9四死球と課題を残した。



まさに、エイプリルフル。恐怖に泣いたサウス



2本塁打の宇野君



3ランの大崎君



ニコニコ頑張るの石田君

試合の反省点

津持：目立ったエラーは少なかったがダブルプレーをとれるところでとれなかった。打撃はよかったが、2塁ランナーの第2リードがとれていなかった。2死2塁からヒット1本で帰ってくる走力と判断力をつける。音野：ゲッツーのミス2回。牽制が課題。センター中心のバッティングはよかった。内田：制球が定まらなかった。打撃もタイミングが合わなかった。佐野：5打席目のエンドランが惜しかった。ゲッツーを2つミスした。宇野：投手のコントロール。ゲッツーのミス。石田：先制点がとれてリズムに乗れた。7回の死球でゲームが荒れた。ゲッツーをとれ。森永：制球が悪かった。投げ込み、走り込み。梅村：7回に出たが、4番に打たれた。D. Bはなくす。西村：サインミス。ボール玉を打たない。次の類を盗む走塁。堀：よく打った。次の試合も頑張る。楽しくやろう。かせ田：打席内で余裕がない。見逃しをしない。大崎：ピッチャーはコーナーに決められるようにする。下半身の強化

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	6	5	2	2	2	3			1		1					0.400
2	6	佐野	6	3	1	2	1	1					1				1	0.333
3	2	宇野	6	4	3	2	5	9	2			2						0.750
	2	梅村	1			1											1	0.000
4	3	かせ田	4	4												1		0.000
	1	森永	1	1	1	1		1										1.000
5	8	大崎	5	5	2	1	3	6	1		1					1		0.400
6	9	西村	5	5	2	3		6		1	1							0.400
7	7	堀	4	4	1	2		2			1						1	0.250
8	14	内田	1	1									1	1				0.000
	PH3	石田	2	2												1		0.000
9	414	音野	5	5	4	2	3	6		1					1			0.800
		計	46	39	16	16	14	34	3	2	4	2	3	1	1	3	3	0.410

	選手名	打率	打点	本
1	音野	0.594	宇野	6
2	宇野	0.500	音野	2
3	内田	0.476	津持	1
4	大崎	0.433		
5	津持	0.372		

次の試合までの練習目標

・まず、声を出す・走力アップのためのダッシュを各自自主的に行う。・梅村はキャッチボールの時からしっかりした送球を行う。・ベースカバーを練習する・バッテリーの投球練習でコミュニケーションを行い、意志の疎通をはかる。また、配給も状況を考えてする。・梅村はノックの時から絶えず大きな声で指示をする（練習で自信をつける）
・常に足を動かし、打球に対しての1歩目を早くする・シートバッティングのとき守備の方も攻撃の方もアウトカウントを頭に入れておく・2塁牽制の練習・カットプレーをスムーズに行うようにする

攻守交代はきびきびと

人数が少なくても最低のマナーを守る

練習をさぼらない・練習で強くなる

今度こそ南条まで走って行って帰ってくるぞ

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 13 1997.4.2

☆☆春のシーズン開幕☆☆

練習試合：4月2日（火曜日） 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	2	0	0	0	0	0	0	2			4
鯖江高校	3	0	0	3	0	1	1	×			8×

試合経過

鯖江高校エースの龍崎の立ち上がりを攻め、津持がセンター前ヒット、佐野がきっちりと送って、3番宇野がまたまた、右中間へ先制ホームラン。あっさり2点を先取した。しかし、その裏、2番から5番までの4連続クリーンヒットであっさり逆転された。4回にも龍崎に左中間の深いところへホームランされ、その後、2本のタイムーで2点を追加された。2番手森永も6、7回にも長打で2点追加された。8回には大崎の2塁打を足がかりに、3番手見延から2四球で無死満塁とし内野ゴロの間に2点を追加した。ここで、降雨のためコールドゲームとなった。



先制本塁打の宇野君



敗戦投手の内田君

試合の反省点

佐野：×4打席目のバント失敗、3打席目のカーブの空振り、3回1死満塁でのライトライナーでのタッチアップ。○ショートゴロをはじいた後の処理、外野との中継プレー、声が出ていた。内田：制球よし、カーブ曲がらず。鯖江の打者は鋭く振り抜く。内角の球をうまく使う。体力をつける。津持：初回到点が取れた。好球の見逃しが多かった。カットプレーがよかった。森永の暴投が多かった。大崎：あと一本が出なかった。バントを確実に決める。音野：ダブルプレーのミス、カットプレーよし、三振、タッチアップ、ベースコーチの指示（宇野）。宇野：投手の立ち上がり、ゲッツーの練習、2塁牽制。石田：立ち上がりが悪い。ストライクの見逃しが多い。かせ田：ゴロの処理、中継でのカットの入り方、消極的なバッティング。堀：右中間・左中間の処理。雨の試合での対策。西村：速い球に負けないスイング。梅村：投手の制球、長打を打たれない。森永：制球が悪い。いい経験をした。鯖江のバッティング。コンパクトな打撃。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	4	1	1		1								1	1	0.250
2	6	佐野	4	2									1				1	0.000
3	2	宇野	4	3	1	1	2	4	1								1	0.333
4	3	かせ田	4	2		1									1		2	0.000
5	8	大崎	4	4	1	1		2			1							0.250
6	9	西村	4	3												1	1	0.000
7	7	堀	4	3			1									1	1	0.000
8	1	内田	3	3												1		0.000
	1	森永	1	1			1											0.000
9	4	音野	4	4	2			2							1	1		0.500
		計	37	29	5	4	4	9	1	0	1	0	1	0	2	5	7	0.172

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.583	宇野	24	宇野	7
2	宇野	0.488	音野	13	大崎	2
3	内田	0.417	津持	10	内田	1
4	大崎	0.412	大崎	9	西村	1
5	津持	0.362				

次の試合までの練習目標

- ・練習時間がないので、細かなチェックはできないがこの2試合の反省点を頭に入れておく。
- ・試合ではまず、声を出す。守備で投手をもち立てる。
- ・特にバッテリーはいかに凡打を打たせるかを考える。
- ・低めの球のボール・ストライクに注意を払う。審判の癖を見抜く。

市長杯の目標

・梅村：よく周りをみて相手の攻撃を読む。かせ田：どん欲に出塁する。ミスをおそれない。石田：いつでも試合に出れるように準備しておく。声を出してみんなをサポートする。音野：3安打2打点、送球をしっかりと。内田：武生に勝つのもう一度鯖江としたい。佐野：1. ノーエラー2. 牽制の連係3. 二遊間のゲッツー4. バント5. 猛打賞6. 無三振7. 転がす8. 勝つ。大崎：守って勝つ。津持：打って守って武生に勝つ。宇野：鯖江市長旗の借りを返す。相手を5点以内に抑えて6点以上取る。まずヒット1本。西村：ヒットをたくさん打つ。エラーしない。

攻守交代はきびきびと、人数が少なくても最低のマナーを守る

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 14 1997.4.18

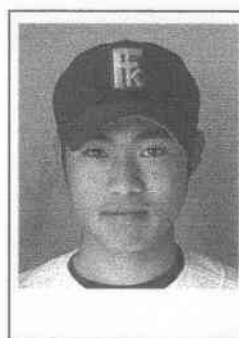
☆☆桜満開・魔の6回にエース散る☆☆

練習試合：4月12日（土曜日） 於武生市営球場

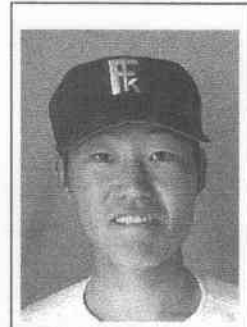
	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	3	0	1	0	0	0	0	0	0		4
武生高校	0	0	0	1	1	4	1	0	×		7×

試合経過 (by 佐野善規)

先行高専は、1回表相手先発橋本の立ち上がりを攻め、津持がD. Bで出塁、すかさずそこで佐野がバント・・・・大失敗！しかし、佐野がレフト前ヒットでお膳立て。ここで大崎（写真）が右中間オーバーのランニングホームラン！！で初回に一気に3点をとった。高専は3回にも絶好調の西村（写真）の2塁打を内田のタイムリーヒットで1点取り4-0とさい先の良いスタートをきった。が、しかし！4回、相手のディレードスチールにあわてて1点、5回にも1点取られ、4-2となった6回武生の攻撃、ヒットと四球で満塁のピンチに出てないはずの背番号8がバッターに・・・ポンポンと2-0に追い込んだが、ここで本部からタイム！そして長い中断のあと何の説明もなく試合開始。その1球目・・・レフトオーバーの3塁打+エラーで4点を奪われてしまった。高専は4回からは0を積み重ね終わってみれば4-7。何とも悲しい幕切れだった。先行しながらバントミス、走塁ミスを重ね、相手に付け入る隙を与えてしまった。



先制本塁打の大崎君



絶好調の西村君

試合の反省点

佐野：（反省点）

走塁のミス（ランナー2塁、セカンドゴロで3塁へ進まない（西村：このあとかせ田に内野安打）、アウトカウントを忘れ2アウトなのにフライで走らない（佐野）、サインを見落とす、バントができない。後半だめ押し点が取れない、ピッチャーのセカンドへの悪送球（内田あわてた）、失点につながる、残塁が多い。

（良かった点）

7、9回を除けば毎回ヒット。思い切った走塁も見られた。外野のカットマンまでの返球。声がよく出ていてベンチの中でもいいムードだった。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	3	0	1							1			1	1	0.000
2	6	佐野	5	5	1			1								2		0.200
3	2	宇野	5	5	1	1		1								1		0.200
4	8	大崎	5	5	1	1	3	4	1							1		0.200
5	9	西村	4	4	2	1		4			2							0.500
6	7	堀	4	4												1		0.000
	7	石田																0.000
7	1	かせ田	4	4	2			2										0.500
8	1	内田	4	3	1		1	1					1			1		0.333
9	4	音野	4	4	2			3			1							0.500
		計	40	37	10	4	4	16	1	0	3	0	2	0	0	7	1	0.270

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.575	宇野	24	宇野	7
2	宇野	0.458	音野	13	大崎	3
3	内田	0.407	大崎	12	内田	1
4	大崎	0.385	津持	10	西村	1
5	津持	0.34				

次の大会までの練習目標

- ・攻撃・守備ともランナーをおいた練習.
- ・はじめの緊張感を解きほぐすためのアップと声だし.
- ・速い球とカーブの見極め
- ・低めの球のボール・ストライクに注意を払う. 審判の癖を見抜く.
- ・そつのない走塁.
- ・牽制球に対するリードの仕方

攻守交代はきびきびと、人数が少なくても最低のマナーを守る

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 15 1997.4.18

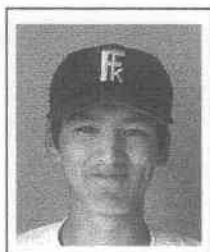
☆☆乱打戦に1年生登場☆☆

練習試合：4月13日（日曜日） 於福井高専野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	2	0	3	0	5	2	4	1	0		17
丹南高校	1	0	0	0	1	0	6	3	0		11

試合経過 (by かせ田憲幸)

初回一死一。二塁から大崎の右前打で2点先制。三回にも森永の右中間本塁打で3点を追加すると五、六、七回には相手投手の乱れもあり11点を奪い丹南を圧倒した。丹南は終盤の七、八回、リリーフの森下の大乱調につけ込んで9点を奪ったが、9回は佐野に抑えられた。相手投手は計20個の四死球。勝たせてもらったような試合だった。練習試合と言えどももっと集中して望むべきである。



第1号・勝ち投手の森永選手



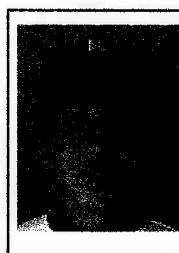
大乱調・試合を長くさせた森下選手



初得点の浅井君



元気いっぱい田野君



初打席初打点の吉田君

試合の反省点

かせ田：（反省点）終盤1年生3人がポジションに着いたとは言えあまりにも声が出ていなかった。「ツーアウト」と声をかけて無視されたときはさすがに参った。

元氣出せ！！

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	7	堀	7	3	2	1	1	2					1				3	0.667
2	54	津持	5	4	1	2	2	1				1			1		1	0.250
	4	吉田	2	1			1										1	0.000
3	9	西村	7	5	1	3	1	1				1					2	0.200
4	8	大崎	5	3	2	1	4	3			1	1					2	0.667
	8	田野	1			1									1		1	0.000
5	2	梅村	6	3		1							1		1		2	0.000
6	3	石田	4	1		1						1	1		1		2	0.000
	3	かせ田	2	2		1										1		0.000
7	416	森下	6	3	1	2		1				1	1		1	1	2	0.333
8	1	森永	3	2	1	1	3	4	1							1	1	0.500
	PH	宇野	1	1														0.000
	5	浅井	2	1		1									1		1	0.000
9	61	佐野	6	4	1	2		1				1				1	2	0.250
		計	57	33	9	17	12	13	1	0	1	6	4	0	6	4	20	0.273

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.575	宇野	24	宇野	7
2	宇野	0.449	大崎	16	大崎	3
3	内田	0.407	音野	13	内田	1
4	大崎	0.405	津持	12	西村	1
5	津持	0.333			森永	1

次の大会までの練習目標

- ・攻撃・守備ともランナーをおいた練習.
- ・はじめの緊張感を解きほぐすためのアップと声だし.
- ・速い球とカーブの見極め
- ・低めの球のボール・ストライクに注意を払う. 審判の癖を見抜く.
- ・そつのない走塁.
- ・牽制球に対するリードの仕方

攻守交代はきびきびと、人数が少なくても最低のマナーを守る
次は大野東・丹南とのダブルヘッダー早起き頑張ろう

ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 16 1996.4.18

☆☆春季大会組み合わせ決定（各市長杯の結果）☆☆

いよいよ高専の登場である。昨秋は前期末試験と日程が重なり、部員不足の坂井農業とともに不参加であった。練習試合や市長杯などでそこそこの自信はつけた。昨年の春に活躍したメンバーも残っている。決してひるむことなく勝ち進んで欲しい。シードは秋の大会の結果により、福井商業と鯖江高校である。しかし、市長杯を優勝した敦賀気比、福井など強豪が虎視眈々と優勝をねらっている。それ以下は混戦模様。チャンスはある。



主将の佐野選手の話：足羽の主将の話では足羽が練習試合で7-3と勝っている。その足羽は武生東とどっこいどっこい。羽水は福井市長杯も初回の3点止まりで北陸に負けている。昨年の秋の大会では、武生工業に接戦。大したことないっす。内田が頑張って、たくさん点を取れば勝てる。（当たり前）

通算成績（9勝5敗1分：内公式戦1勝3敗）

順位	選手名	打席	打数	安打	得点	打点	塁打	本	3	2	盗	犠	犠	失	三	四	打率
1	音野	53	40	23	11	13	31	0	3	4	3	3	1	2	1	8	0.575
2	宇野	60	49	22	21	24	52	7	4	1	10	1	2	1	2	9	0.449
3	内田	33	27	11	7	9	17	1	0	2	0	4	2	1	4	3	0.407
4	大崎	52	42	17	15	16	31	3	0	5	6	2	0	1	3	7	0.405
5	津持	73	54	18	23	12	22	0	0	4	2	6	2	9	3	11	0.333
6	佐野	58	38	12	14	5	20	0	3	2	1	9	0	5	8	8	0.316
7	西村	69	59	18	16	8	28	1	1	5	1	0	1	2	6	9	0.305
8	かせ田	45	40	12	7	3	16	0	0	4	1	2	1	3	9	4	0.3
9	森下	27	18	5	8	3	5	0	0	0	1	2	0	4	6	5	0.278
10	森永	13	12	3	2	4	6	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0.25
11	石田	22	17	4	4	1	4	0	0	0	1	1	0	3	2	4	0.235
12	堀	38	32	7	4	5	11	0	0	2	0	1	0	0	2	6	0.219
13	梅村	16	12	2	3	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0.167
14	N吉田	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15	N浅井	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
16	N綾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17	N田野	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
18	N巨椋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		645	506	171	150	120	270	14	11	33	29	36	10	44	59	93	0.338

春江工高がV

坂井郡町長旗杯

坂井郡六町長旗杯争奪高校野球春季大会(福井新聞社後援)は十二日、三国高グラウンドで4チームが参加して開かれ、決勝で春江工高が丸岡を破り優勝した。

▽1回戦
三国 0011010
春江 421012x
.....103

(三) 成田、林田、白崎悠
(春) 中垣内、角谷、伊藤

▽三塁打 林田(三) 伊藤、角谷(春)

▽二塁打 白崎悠、林田、鷲田(三) 糠山、池端(春)

丸岡 000020001
金津 020000001
.....021

(丸) 橋本、白田
(金) 坂井、小林

▽二塁打 宇城(金) 久保田(丸)

▽決勝
春江 00300320000
丸岡 00200002105
.....58

(春) 橋本、角谷、伊藤
(丸) 野尻、白田

▽三塁打 大西、吉田、荒井(春)

▽二塁打 池端(春) 橋本(丸)

武生など4強きよう決勝戦

武生市長杯高校野球

第四十九回武生市長杯争奪高校野球大会は十二日、武生市野球場で開幕。1回戦4試合が行われ、武生などが準決勝に進んだ。十三日は午前九時から準決勝、決勝が行われる。

▽1回戦
高専 3011000000
武生 000114100x
.....74

(高) 内田、宇野
(武) 橋本、池田、水野

▽本塁打 大崎(高)

▽二塁打 奥山(武)

▽三塁打 西村2、音野(高)

登坂、橋本(武)

武生東 42014108
丹南 001115000
.....820

(丹) 間所、内藤、小平、向

当

▽二塁打 山内2、加藤、白谷(武) 向、東(丹)

▽決勝
武生 000001001
鯖江 010130022x
.....92

(武) 池田、水野
(鯖) 石本、山崎

▽本塁打 龍崎(鯖)

▽二塁打 登坂、高橋(武)

五十嵐、山内(鯖)

武生商 1010100011
鯖江 0002310x
.....85

鯖江が優勝

武生市長杯高校野球

第四十九回武生市長杯争奪高校野球大会は十三日、市野球場で準決勝、決勝3試合が行われ、鯖江が武生を破り優勝した。

▽準決勝
武生東 000100000
武生 001402001x
.....81

(東) 登坂、井村、田中
(武) 小島、水野、大迫

▽二塁打 登坂(東)

鯖江 004012003
丹生 000111000
.....310

(鯖) 榎、見延、龍崎、山崎

▽準決勝
敦賀 1166461
敦賀工 000000000
.....025

(敦) 吉岡、金森、東、福田

▽二塁打 山内、倉野

(工) 前川、山口、香川、幸

光、田辺

▽本塁打 則野(工)

▽三塁打 末吉、則野(工)

▽二塁打 東出、吉岡、則野

2、三浦、倉野(工)

若狭 50200117
美方 160200000
.....916

(若) 清水、治面地、杉本

長谷川、吉田

▽美) 藤原貞、岡本、藤原雅

▽三塁打 板谷、清水、杉本

▽二塁打 田中、鳥左近(美)

敦賀気比と若狭きよう決勝対決

美浜三方町長杯野球

第二十七回美浜三方町長杯争奪高校野球大会は十二日、美浜町民広場野球場で開幕した。5チームが参加して1回戦、準決勝3試合が行われ、敦賀気比と若狭が十三日に同会場で行われる決勝に進んだ。

▽1回戦
若狭 23113000
敦賀 00001000
.....19

(若) 杉本、長谷川

(敦) 岸、杉森

▽二塁打 辻本、富田、今井

片岡(若)

▽準決勝
敦賀気比 1166461
敦賀工 000000000
.....025

(敦) 吉岡、金森、東、福田

▽二塁打 山内、倉野

(工) 前川、山口、香川、幸

光、田辺

▽本塁打 則野(工)

▽三塁打 末吉、則野(工)

▽二塁打 東出、吉岡、則野

2、三浦、倉野(工)

若狭 50200117
美方 160200000
.....916

(若) 清水、治面地、杉本

長谷川、吉田

▽美) 藤原貞、岡本、藤原雅

▽三塁打 板谷、清水、杉本

敦賀気比5連覇

美浜三方町長杯野球

第二十七回美浜三方町長杯争奪高校野球大会は十三日、美浜町民広場野球場で決勝戦が行われ、敦賀気比が若狭を6-4で下し、五年連続六回目の優勝を飾った。

▽決勝
若狭 101002000
敦賀気比 002310000x
.....64

(若) 杉本、長谷川

(敦) 三上、金岡

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

▽二塁打 金岡(敦)

▽三塁打 金岡(敦)

4強進出

福井市長旗杯高校野球

第九十五回福井市長旗争奪高校野球春季大会(福井新聞社後援)は九日、福井市野球場で開幕。1回戦4試合が行われ、前回優勝の福井商などが準決勝にコマを進めた。十日は同球場で福井一高志、福井商、北陸の準決勝と決勝が行われる。

▽1回戦
福井商 100100400
福井 031300310x
.....116

(福) 三ツ屋、山本延、山本博

(福) 竹綱、室木、藤原、田中

松井

▽三塁打 川畑(福)

▽二塁打 山本和、辻岡、富田(農)

福井、福商下しV

福井市長旗杯高校野球

第九十五回福井市長旗争奪高校野球春季大会(福井新聞社後援)最終日は十日、同市野球場で準決勝と決勝が行われた。決勝では福井が12-5で福井商を下し優勝した。

4-1と3点リードで迎えた七回、福井は相手守備

の乱れにつけ込み、ヒット3本で大量6点を挙げ、試合を決めた。福井商は8安打を放ちながら14残塁。好機に決定打を欠いた。

▽準決勝
高志 000010
福井 6900x
.....151

(高) 竹松、中野

(福) 竹綱、田中、松井

▽本塁打 川畑、田中(福)

▽二塁打 中野、高志、谷口

園部、高橋(福)

福井商 41610
北陸 00000
.....012

(福) 安達、清水大

(北) 田中、手賀、荒見

▽本塁打 中出2(商)

▽二塁打 清水大、森津田(商)

▽決勝
福井 0130000602
福井商 0000011302
.....512

(福) 藤原、田中

(商) 安達、森田、清水大

▽三塁打 津田(商)

▽二塁打 高橋、谷口、田中(福)

KOUSEN



KOUSIEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 17 1997.4.21

☆☆春季大会へ課題満載☆☆

練習試合：4月20日 於大野東高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	0	1	0	0	0	1	1	1	3		7
大野東高校	0	1	0	0	0	0	0	2	0		3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
丹南高校	0	0	2	1	0	1	0	6	2		12
福井高専	0	0	1	2	1	0	2	2	x		8

試合経過

朝早くに地元を出発、大変疲れた1日であった。大野東戦は、エースの内田(写真)が完投した。序盤と終盤にヒットを浴びたが、ピンチをうまくしのいで3点に抑えた。特に低めのコントロールとカーブのコンビネーションがよく内野ゴロが多かった。内野もよく守り、外野

もよく守った。両軍各1四球と好試合であった。

続く2試合目は、40分ほどの食事休憩を挟んでの試合で、疲れが出たようだ。先発の音野は制球に苦しみ、15四球に16安打という惨憺たる内容。しかし、7回までは4点に抑えていた。終盤、完全にバテてしまったが、やむを得ないか。問題は攻撃陣である。1番、4番がノーヒットで打線につながりがない。8番堀が3安打、9番森下も犠打2と仕事をしていただけに、ここ1本でない上位陣に不満が残る。しかし、7回には、2死2塁から本日唯一会心のヒットエンドランをかせ田が決め、優位に立っただけに、3番手以降の投手陣の整備が課題である。守備の面では、やはり、内野のサインプレーの徹底や盗塁させないための牽制球など練習が必要である。前日練習したバントを絡めた細かなプレーが決まらず、相手チームにかき回されているようでは勝利はない。打撃も大振りが多く飛球が多かった。コンパクトな打撃をするための、基本的な練習を積み重ねる必要がある。

北大野駅に降り立つサインイン(私はどこ?)



大野市北大野駅前駐車場



ヒーローになり損ねたかせ田君



打っては2安打、投げては16安打の音野投手

反省事項 (1) 他的高校や球場での試合になれる (2) アップテンポの試合の流れについていく (3) 基本的な打撃技術の習得 (4) 疲労時の体のバランスの維持 (5) 牽制球の重要性(相手の作戦の意図を探る) (6) この1点の重要性(攻撃・守備) (7) バントを基本にした攻撃・走塁パターンの習得 (8) ピンチ時のタイムの取り方などバッテリー・内野の連携 (9) 貴重品の管理 (10) 早寝早起き

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	4	1			1				1	1	1				0.250
2	6	佐野	5	5	1	1		1				2			2			0.200
3	2	宇野	4	4	1			1				1						0.250
4	8	大崎	4	4	1	1		1								1		0.250
5	9	西村	4	3	1	2		3		1							1	0.333
6	9	音野	4	4	2	1	1	3			1	1						0.500
7	3	内田	4	3										1	1	1		0.000
8	6	かせ田	4	4	1	1	2	1					1					0.250
9	4	堀	4	3	1	1		2					1	1		1		0.333
		計	38	34	9	7	3	13	0	1	1	5	3	3	3	3	1	0.265

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	2		1							1				2	0.000
2	6	佐野	5	3	1	1		1							1	1	2	0.333
3	1	音野	5	4	2		2	2										0.500
4	8	大崎	5	4		1						1		1			1	0.000
5	9	西村	5	4	1	1	1	1				1					1	0.250
6	3	かせ田	5	3	1	1	1	1									2	0.333
7	2	石田	5	5		1								1				
8	7	堀	5	5	3	2		3						2		1		0.600
9	4	森下	4	2	1			1					2					0.500
		計	44	32	9	8	4	9	0	0	0	2	3	4	1	2	8	0.281

今週のベスト5

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.563	宇野	24	宇野	7
2	宇野	0.434	音野	16	大崎	3
3	内田	0.367	大崎	16	内田	1
4	大崎	0.36	津持	12	西村	1
5	津持	0.317			森永	1

1年生5人組 (大野東体育館)
左から綾・田野・吉田・浅井・巨椋



ROUSEN



ROUSEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 18 1997.4.28

☆☆高専7R・KO勝ち・宇野さよなら3ラン☆☆

練習試合：4月27日（日曜日） 於福井市営球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
羽水高校	0	0	2	0	0	0	1				3
福井高専	0	0	0	0	3	4	4	X			11



2塁打2本に犠牲フライの津持選手



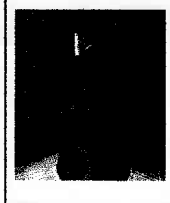
3打点トリオの一人、2年生の西村選手と酒井マネ。1年生大会の借りは返した。



やることはやった音野選手。ゲーム終了後はどこへいったのでしょうか？



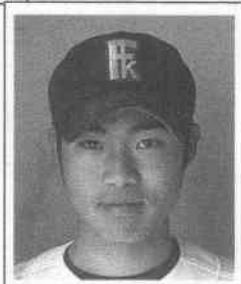
勝ち投手の森永選手・ヘッドスライディングがチームの志気を高めた



姉のアナウンスでリリーフした森下投手

コールドゲームとなるさよなら3ランの宇野捕手
インサイドワークと好リードが光った。

チームリーダーとして大活躍。クリーンナップにうまくつないだ佐野選手



同点タイムリーの大崎選手。昨春について活躍



3塁コーチャーの重責を果たした石田選手

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	3	2	2	2	4			2			1		1	1	0.667
2	6	佐野	5	4	2	2		3			1	1	1		1			0.500
3	2	宇野	5	5	3	3	3	6	1			1				2		0.600
4	8	大崎	4	3	1	1	3	1				1		1				0.333
5	9	西村	4	3	2		3	3			1						1	0.667
6	7	堀	4	4	1			1				1						0.250
7	3	かせ田	4	3		1						1	1		1			0.000
8	1	森永	2	2	1			1							2			0.500
	PH	浅井	1	1														0.000
	1	森下	1												1			0
9	4	音野	4	4	2	2		2				1			1			0.500
		計	39	32	14	11	11	21	1	0	4	6	2	2	6	3	2	0.438

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.558	宇野	27	宇野	8
2	宇野	0.448	大崎	19	大崎	3
3	内田	0.367	音野	16	内田	1
4	大崎	0.358	津持	14	西村	1
5	津持	0.333	西村	12	森永	1

羽水10安打も大敗



津持の石中間三塁打と宇野の左前打などで二死、三塁。大崎が三遊間を破り追い付くと、続く西村も右前打を放つて一気に逆転した。六回にも準4点を奪い、七回には宇野の3ランで息の根を止めた。単打に

長打、犠飛と、中軸の勝負強さが光った。羽水が放つた10安打はすべて中堅から右方向。左投手をつまく攻

略したが、先発の三上が故障のため本調子でなく、救

高専11-3羽水		【羽水】		打安	点振	球振
①	野田	3	4	3	1	0
②	飯上	3	1	0	0	0
③	三山	3	3	1	0	0
④	上田	2	2	0	1	0
⑤	肥田	2	2	0	0	1
⑥	山崎	2	2	0	0	0
⑦	山崎	2	2	0	0	0
⑧	山崎	2	2	0	0	0
⑨	山崎	2	2	0	0	0
⑩	山崎	2	2	0	0	0
⑪	山崎	2	2	0	0	0
⑫	山崎	2	2	0	0	0
⑬	山崎	2	2	0	0	0
⑭	山崎	2	2	0	0	0
⑮	山崎	2	2	0	0	0
⑯	山崎	2	2	0	0	0
⑰	山崎	2	2	0	0	0
⑱	山崎	2	2	0	0	0
⑲	山崎	2	2	0	0	0
⑳	山崎	2	2	0	0	0
㉑	山崎	2	2	0	0	0
㉒	山崎	2	2	0	0	0
㉓	山崎	2	2	0	0	0
㉔	山崎	2	2	0	0	0
㉕	山崎	2	2	0	0	0
㉖	山崎	2	2	0	0	0
㉗	山崎	2	2	0	0	0
㉘	山崎	2	2	0	0	0
㉙	山崎	2	2	0	0	0
㉚	山崎	2	2	0	0	0
㉛	山崎	2	2	0	0	0
㉜	山崎	2	2	0	0	0
㉝	山崎	2	2	0	0	0
㉞	山崎	2	2	0	0	0
㉟	山崎	2	2	0	0	0
㊱	山崎	2	2	0	0	0
㊲	山崎	2	2	0	0	0
㊳	山崎	2	2	0	0	0
㊴	山崎	2	2	0	0	0
㊵	山崎	2	2	0	0	0
㊶	山崎	2	2	0	0	0
㊷	山崎	2	2	0	0	0
㊸	山崎	2	2	0	0	0
㊹	山崎	2	2	0	0	0
㊺	山崎	2	2	0	0	0
㊻	山崎	2	2	0	0	0
㊼	山崎	2	2	0	0	0
㊽	山崎	2	2	0	0	0
㊾	山崎	2	2	0	0	0
㊿	山崎	2	2	0	0	0

▽本塁打	宇野
▽二塁打	佐野、津持
▽暴投	2、西村
▽野選	森永2、三上田村

ROUSEN



ROUSEN

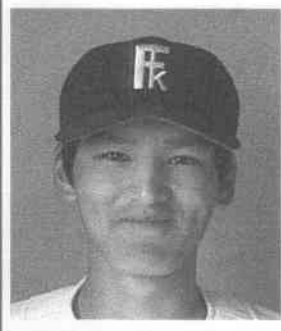
愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 19 1997.4.30

☆☆森永粘投・先制も篠原打てず後半しりすぼみ☆☆

練習試合：4月29日（火曜日） 於福井県営球場（全員野球で頑張って）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	2	0	2	0	0	0	0	0	0		4
福井高校	1	0	3	0	0	0	1	1	×		6



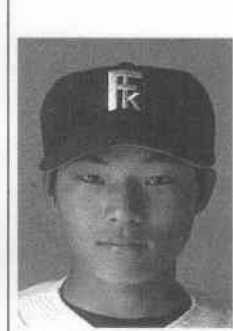
相手打者のタイミングを外し、連打を許さなかった森永選手。今後の飛躍が期待される



先制3塁打を含む2本の3塁打で大暴れの宇野捕手。森永投手をうまくリードした



5C-3のゲッツーを2つきめた津持選手。2四球とリードオフマンとしても活躍



バント2本を確実に決め先制パンチに結びつけた佐野選手

試合経過

じゃんけんに勝った高専は初回、津持がねばって四球。佐野が初球をきっちり送りバント。このチャンスに3番宇野は2球目の変化球を右中間にきれいに運びまず1点。4番大崎が初球をライトへ犠牲フライと鮮やかに先制した。その裏福井の4番土田にセンターオーバーの2塁打で1点差とされたが3回にも初回と同様に津持四球、佐野送りバントのあと、宇野が風に乘せてライトへ3塁打。大崎のショートゴロでホームをつくもタッチアウト。しかし、大崎盗塁ワイルドピッチのあと堀がサードへぼてぼてのゴロ、ヘッドスライディングで内野安打とし、1点追加。4-1とした。その裏3連打と2四球、セカンドのエラーで同点とされたが、先発の森永が以後踏ん張り、バックも3併殺と盛り上げた。しかし、同点に追いついた4回以降、相手投手が本来の投球に戻り、エース篠原の投入で、福井も体勢を立て直した。高専は7回、8回にタイムリーで1点ずつを失い、結局4-6で敗れた。4失策と随所にまずいプレーも見られたが、内外野とも、状況判断して落ち着いてプレーできた。夏へ向けて収穫大の試合であった。また、レベルの高い投手にいかにか立ち向かうか、細かなミスをなくす基本練習の繰り返しが今後の課題として残った。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	4	2		2									1		2	0.000
2	6	佐野	4	2									2		1	2		0.000
3	2	宇野	4	4	2	1	2	6		2								0.500
4	8	大崎	4	3		1	1					1		1		2		0.000
5	9	西村	4	2													2	0.000
6	7	堀	4	4	1		1	1								1		0.250
7	3	かせ田	3	2												1	1	0.000
	PH	石田	1	1												1		0.000
8	1	森永	3	2									1		1	1		0.000
	PH	浅井	1	1												1		0.000
9	4	音野	3	3											1	2		0.000
		計	35	26	3	4	4	7	0	2	0	1	3	1	4	11	5	0.115

選手名	打率		打点		本
1 音野	0.527	宇野	29	宇野	8
2 宇野	0.452	大崎	20	大崎	3
3 内田	0.367	音野	16	内田	1
4 大崎	0.339	津持	14	西村	1
5 津持	0.323	西村	12	森永	1

▽2回戦 (県営)
高専 202000000000
福井 103000011×6 4
【評】福井は、中盤から立ち直った福井高専・森永を打ちあげた。四球の走者を七回に土田、八回には谷口の適時打で迎え入れ振り切ったが、3併殺を喫するなど雑な攻めも目立った。

福井ヒヤリ
高専に辛勝

3点リードされた福井は三回、一死一塁から園部、橋本の連続長短打で1点差と迫り、さらに四球で一死一、二塁。土田の遊ゴロで併殺を狙った二塁手の一塁転送が悪送球となる間に追いついた。高専は初回、1回戦で本塁打を放っている宇野が右中間を深々と破り先制。続く大崎の犠飛で、鮮やかな先制パンチを浴びせた。三回にも宇野の連続三塁打などで加点したが、竹綱、篠原の前に四回以降9三振と抑え込まれた。

僕たちの野球できた
①「僕たちの野球がきつちりでき、内容的には満足です」。福井高専主将の佐野は得点シーンを振り返る。先頭の津持が四球で出塁し、二番佐野がバントで送る。「僕の仕事」をしつかりこなし、そこに大砲・宇野の三塁打が飛び出す。「三回ともお手本のよきな攻撃だった。守備面でも練習の成果が出た。4失策がある。」

しまったもの、内野陣は再三のピンチを3併殺で切り抜けた。八回には本塁封殺プレーも飛び出し、粘り強く投げるマウンドの森永を援護した。シード校相手の善戦に「相手は初戦だから、まだ本調子じゃない」と奥村監督は謙そんするが、佐野主将は「夏に向けて自信になった。課題を克服して好きな野球を1試合でも多くやりたい」と話していた。

福井6—4福井高専	高	専	打	安	点	振	球
⑤津持	0	0	0	0	0	0	2
⑥宇野	0	0	0	0	0	0	2
⑦大崎	0	0	0	0	0	0	2
⑧音野	0	0	0	0	0	0	2
⑨西村	0	0	0	0	0	0	2
⑩堀	0	0	0	0	0	0	2
⑪石田	0	0	0	0	0	0	2
⑫森永	0	0	0	0	0	0	2
⑬浅井	0	0	0	0	0	0	2
⑭音野	0	0	0	0	0	0	2
⑮計	4	1	4	4	3	26	3
失	4	1	1	1	1	1	1
残	4	1	1	1	1	1	1
併	4	1	1	1	1	1	1

【福井】	打	安	点	振	球
⑤園部	4	1	1	1	2
⑥橋本	4	1	1	1	2
⑦高橋	4	1	1	1	2
⑧高橋	4	1	1	1	2
⑨高橋	4	1	1	1	2
⑩高橋	4	1	1	1	2
⑪高橋	4	1	1	1	2
⑫高橋	4	1	1	1	2
⑬高橋	4	1	1	1	2
⑭高橋	4	1	1	1	2
⑮高橋	4	1	1	1	2
⑯高橋	4	1	1	1	2
⑰高橋	4	1	1	1	2
⑱高橋	4	1	1	1	2
⑲高橋	4	1	1	1	2
⑳高橋	4	1	1	1	2
㉑高橋	4	1	1	1	2
㉒高橋	4	1	1	1	2
㉓高橋	4	1	1	1	2
㉔高橋	4	1	1	1	2
㉕高橋	4	1	1	1	2
㉖高橋	4	1	1	1	2
㉗高橋	4	1	1	1	2
㉘高橋	4	1	1	1	2
㉙高橋	4	1	1	1	2
㉚高橋	4	1	1	1	2
㉛高橋	4	1	1	1	2
㉜高橋	4	1	1	1	2
㉝高橋	4	1	1	1	2
㉞高橋	4	1	1	1	2
㉟高橋	4	1	1	1	2
㊱高橋	4	1	1	1	2
㊲高橋	4	1	1	1	2
㊳高橋	4	1	1	1	2
㊴高橋	4	1	1	1	2
㊵高橋	4	1	1	1	2
㊶高橋	4	1	1	1	2
㊷高橋	4	1	1	1	2
㊸高橋	4	1	1	1	2
㊹高橋	4	1	1	1	2
㊺高橋	4	1	1	1	2
㊻高橋	4	1	1	1	2
㊼高橋	4	1	1	1	2
㊽高橋	4	1	1	1	2
㊾高橋	4	1	1	1	2
㊿高橋	4	1	1	1	2

▽三塁打	宇野 2
▽二塁打	園部 2
▽一塁打	田中 2
▽併殺	竹野 2



KOUSEN



KOUSIEN

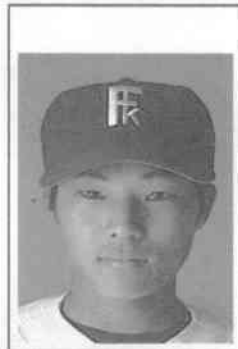
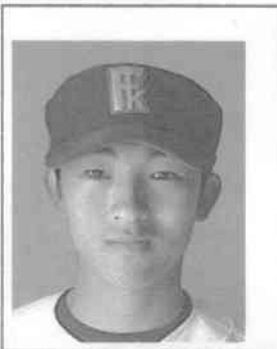
愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 20 1997.6.30

☆☆内田久々の登板も火だるま（サウスもね）☆☆

練習試合：5月31日（土曜日） 於福井県営球場（全員野球で頑張った）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	3	0	1	3	0	1	0	0	1		9
武生商業	2	2	2	2	3	0	0	7	×		18



ホームランを打った3人の活躍も嬉しい

試合経過

初回から、高専打線は活発であった。春の大会以来久々の試合であったが、中軸打線は好調であった。3回には相手のFCで追いつき、4回には大崎のホームランで逆転とシーソーゲームを展開したが、エース内田が病み上がりということもあっていつもの制球力がなく、カウントをとりに行ったところを、武生商業の強力打線に捕まった。相手も春の大会、敦賀と延長14回の戦いを演じた実力チーム、特に打線は4番加藤、5番にあがった福島、7番近江の振りが鋭く、終盤にも春の大会で好投した森永が連打を浴びて大差での敗北となった。

投手を中心としたディフェンスと相手投手のスライダー・カーブをいかに攻略するかが今後の課題となった。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	3		1						1				1	2	0.000
2	6	佐野	5	4	3	3		7	1		1		1					0.750
3	2	宇野	5	5	1	1	2	4	1							1		0.200
4	8	大崎	5	5	3	3	1	6	1									0.600
5	9	西村	5	5	2			2								1		0.400
6	3	かせ田	5	4	2	1	1	3			1		1		3			0.500
7	7	石田	3	2											2		1	0.000
	PH7	浅井	2	2	2			4		1								1.000
8	1	内田	3	2												1		0.000
	PH	吉田	1	1												1		0.000
	1	森下																0.000
	1	森永	1	1														
9	4	音野	4	4														
		計	44	38	13	9	4	26	3	1	2	1	2	0	5	5	3	0.342

	選手名	打率		打点	本
1	音野	0.492	宇野	31	9
2	宇野	0.433	大崎	21	4
3	大崎	0.361	音野	16	1
4	内田	0.344	津持	14	1
5	佐野	0.339	西村	12	1

KOUSEN



KOUSIEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 21 1997.7.19

☆☆舞鶴交歓試合・遠路遙々☆☆

練習試合：6月1日（日曜日） 於大飯町野球場（目の前は海だ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	2	0	1	0	0	1	0	0	2		6
舞鶴高専	0	0	1	0	0	0	0	1	0		2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
舞鶴高専	1	0	0	0	0	0	3	0	0		4
福井高専	0	0	3	0	1	0	0	0	0		4



若狭本郷駅前にて

試合経過

舞鶴高専との練習試合。雨が予想されていたが当日は好天に恵まれ、山本コーチとともに朝早くタウントレインに乗って敦賀駅へ。そこから小浜線に乗り換え若狭本郷駅に到着。巨椋君は絶妙のタイミングで列車に乗り込み冷や冷やさせられる。球場は歩いて5分のふれこみだったが、15分はかかっただろう。グラウンドでは舞鶴高専の選手たちがアップを始めていたが、その人数の多さに圧倒された。数日間風邪が蔓延し、堀選手などはボールが3つに見えるという有様であった。

第1試合は、初回に宇野が3塁打、大崎犠牲フライという典型的な高専先制パターンで2点をあげ、その後も3回には大崎の3塁打。6回には音野の3塁打と長打で中押し。9回には宇野の2盗、3盗に大崎のライト前のタイムリーでだめ押し。結局内田がねばり強く投げて、2点に押さえて勝利した。

第2試合は、1年生も先発しての試合。音野が投げにくいマウンドで悪戦苦闘しているうちに、自らの長打などで4-1とリード6回から森永をマウンドへ送るが、これがいけなかった。7回に3安打を集められ、同点。8回の勝ち越し期にはなんとスクイズの見逃し。最終回も宇野まで代打で投入するもお疲れさん。

また来年ということで、舞鶴交歓試合は幕を閉じました。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	5											1			0.000
2	6	佐野	5	4	1	2		3		1							1	0.250
3	2	宇野	5	4	1	2	1	5		1		2				1	1	0.250
4	8	大崎	5	4	3	1	3	1				2		1		1		0.750
5	9	西村	5	5	1													0.200
6	7	堀	5	4		1										2		0.000
7	3	かせ田	5	5											1			0.000
8	1	内田	4										4					0.000
9	4	音野	4	3	1		1	2									1	
		計	43	34	7	6	5	11	0	2	0	4	4	1	2	4	3	0.206

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	3	3	1	1		1								2		0.333
	2	梅村	1	1												1		0.000
	pH	宇野	1	1														0.000
2	61	森下	3	3	1	2		1								1		0.333
	pH	駿	1	1												1		0.000
	9	西村																0
3	1	音野	2	2	1	1	2	2			1					1		0.500
	pH	吉田	1	1														0.000
	6	佐野	1	1	1		1	1										1.000
4	5	浅井	4	2	1			1									2	0.500
5	23	石田	3	3	1			1							1	1		0.333
	pH	大崎	1									1					1	0
	3	かせ田																0
6	91	森永	4	3	1			1									1	0.333
7	7	巨椋	4	3									1		1			0.000
8	8	田野	4	2									1			1		0.000
9	4	大山	4	3									1					0.000
		計	37	29	7	4	3	8	0	0	1	1	3	0	2	8	4	0.241

	選手名	打率		打点	本
1	音野	0.484	宇野	32	9
2	宇野	0.417	大崎	24	4
3	大崎	0.385	音野	17	1
4	佐野	0.344	津持	14	1
5	内田	0.344	西村	12	1

なお、舞鶴は1回戦で立命館高校に3-6と惜敗しました。

KOUSEN



KOUSIEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 22 . 1997.7.19

☆☆打線活発・内田2安打完投・宇野10号で連勝☆☆

練習試合：6月22日（日曜日） 於福井高専球場（連勝確定）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
福井高専	1	0	1	1	0	1	2	2	1		9
武生工業	0	0	0	4	0	0	0	0	0		4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生東高校	0	2	0	1	2	0	1	4	0		10
福井高専	4	4	0	1	1	1	2	0	×		13

試合経過

第1試合、攻撃面では先制、中押し、だめ押しの理想的なパターンで12安打9点をあげた。しかし、残塁が12あり、もっと点が取れた展開だった。守備面では音野の穴を大山が埋め、内田も2安打で完投したが、初回の2ストライクからのコントロールミスでのヒット、4回の2死満塁での粘られてのホームランと追い込んでいただけに悔やまれる。

第2試合は、打ち合いとなったが、下位打線の不振が気がかりである。西村、堀、かせ田がそろってノーヒット。3、4番がマークされたときに不安が残る。しかし、ダブルの2試合目に勝てたことは収穫であった。（科技高に勝って以来）

この2試合でストッパーが誕生した。佐野である。果たして本番での出番はあるのか？

新入部員の紹介

大山宏和（おおやまひろかず）：物質工学科の2年生。明道中学出身。1年生大会では主将を務めるも典型的な高専生活を身につける。ようやくドヨンドヨンの学園生活から復活。

酒井陽介（さかいようすけ）：これは本当の新人だ。環境都市工学科も1年生だ。清水中学出身である。環境都市では久々のような気がする。10月5日生まれである。よろしく

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	6	2	1	2	2	1					1		1		3	0.500
2	61	佐野	6	5	1		1	3			1						1	0.200
3	2	宇野	6	6	2	1		2										0.333
4	8	大崎	5	3	2	1	2	4		1		1		1			2	0.667
5	9	西村	5	5	1	1	1	1										0.200
6	7	堀	5	5														0.000
7	3	かせ田	5	5	3	2	1	3							1			0.600
8	1	内田	3	3														0.000
	pH	石田	1	1														0.000
	6	森下	1										1					0
9	4	大山	5	3	2	2		2					1				1	0.667
		計	48	38	12	9	7	16	0	1	1	0	3	1	2	0	7	0.316

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	5	4	2	2		2				2			2		1	0.500
2	61	佐野	5	4	1	2	1	1									1	0.250
3	2	宇野	4	3	2	4	4	7	1	1		1					1	0.667
		梅村	1	1								1						
4	8	大崎	4	4	2	2	3	2										0.500
		田野	1	1												1		
5	9	西村	5	4													1	0.000
6	7	堀	5	4			1										1	0
7	3	かせ田	3	2		1											1	0.000
		石田	2	2											2			
8	1	内田	1	1														0.000
	pH	綾	1	1												1		0.000
	6	浅井	2	1		1											1	0.000
9	4	大山	3	1								1					2	0.000
	pH	吉田	1	1	1	1		1										1
	3	森下																0
		計	43	34	8	13	9	13	1	1	0	5	0	0	4	2	9	0.235

	選手名	打率		打点		本
1	音野	0.484	宇野	32	宇野	9
2	宇野	0.417	大崎	24	大崎	4
3	大崎	0.385	音野	17	内田・佐野	1
4	佐野	0.344	津持	14	西村	1
5	内田	0.344	西村	12	森永	1

KOUSEN



KOUSIEN

愛さえあれば甲子園

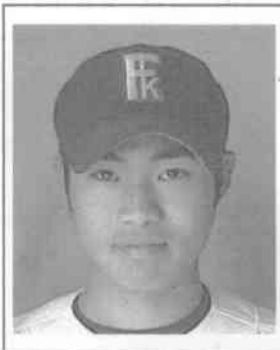
Vol. 1 No. 23 1997.7.19

☆☆内田 2 安打完投・宿敵武生をさよならで下す

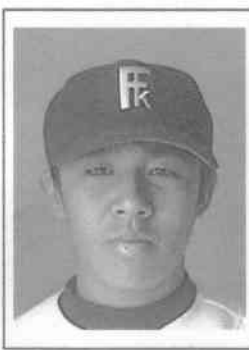
・主将佐野死球で退場☆☆

練習試合：7月5日（土曜日） 於福井高専球場（全員野球で頑張って）（15勝8敗2分 勝率.652）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
武生高校	0	0	1	0	1	0	0	0	0		2
福井高専	1	0	0	0	0	0	0	0	2×		3×



さよなら逆転タイムリーを含む
3打点をたたき出した4番大崎
選手



逆転の口火を切った浅井選手



さよならのお膳立ての宇野選手

試合経過

それは3回の裏に起こった。カウント1-1からの3球目。ドラッグバントをしようとした佐野選手の左頬に武生高校橋本投手の投じた時速100kmの剛速球が激突したのだ。ボールは約1.5mほど一塁側に転がり、その代わりに佐野選手は打席でうずくまってしまった。みんなが駆け寄ると、佐野選手は全く動かず顔面を血だらけにしながら、呼吸こん困難に陥っていた。とにかく涼しい場所へとネット裏へ運ぼうとしたが、佐野選手は脚がふらつき貧血状態であった。はじめ、山本さんの車で病院へと考えたが、血だらけでもあり、生命の危機もありうるので、救急車を呼ぶこととした。5分ほどしてサイレンを鳴らしながら到着。「名前は」「生年月日は」と丹生消防署の署員が佐野の意識を確認するための問いに宇野選手が一生懸命答えていたのが印象的だった。酒井マネージャーに付き添ってもらい、運ばれた先は高専生御用達の高野病院であった。意識はしっかりしており大丈夫との連絡に一同安堵し、同時に夏の大会に向けて一抹の不安がよぎった。しかし、佐野選手は主将としての晴れ舞台の抽選会に望むことができなくなり、代わりに宇野選手がくじを引くこととなった。試合終了後、宇野選手とともに病院に駆けつけ無事を確認した。佐野選手は試合の結果を聞き、宇野選手がさよならの場面を細かに報告すると佐野選手はその場に立ち会えなかった悔しさと、「俺いなくても勝ったの？」という一抹の寂しさをのぞかせていた。

さて試合は、金沢に完投勝ちした橋本の立ち上がりをも攻め、1点を先制。しかし、3回同点に追いつかれると、5回にはD.Bのランナーをバント、ワイルドピッチで3塁に進められ、次の球をスクイズされ1点を失う。中盤元気のなかった高専だが8回から池田に変わると俄然、これまでの鬱憤を晴らすかのように襲いかかる。口火を切ったのは、1年生の浅井だった。詰まりながらライト前へ。続く宇野がカーブをうまく叩いて左中間へ。無死2・3塁。4番大崎は粘ったあげくの9球目のカーブをピッチャー返し。これが逆転サヨナラタイムリーとなって、ついに武生高校に雪辱。これもすべて先発内田の2安打に押さえる好投ととくに外野の好判断によるところが大きい。

スコアブック

打順	位置	選手名	打席	打数	安打数	得点	打点	塁打	本塁打	3塁打	2塁打	盗塁	犠打	犠飛	失策	三振	四死球	打率
1	5	津持	4	4									1		1			0.000
2	6	佐野	1	1	1			1										1.000
	pH6	森下	2	2												1		
	pH	浅井	1	1	1	1		1										
3	2	宇野	4	4	1	2		2			1	1						0.250
4	8	大崎	4	4	3		3	3										0.750
5	9	西村	3	3	1			1								1		0.333
6	7	堀	3	3	1			1								2		0.333
7	3	かせ田	3	3												1		0.000
8	1	内田	3	3	1			1								1		0.333
9	4	音野	3	2									1	1				0.000
		計	31	30	9	3	3	10	0	0	1	1	2	1	1	6	0	0.300

	選手名	打率	選手名	打点	選手名	本
1	音野	0.47	宇野	36	宇野	10
2	大崎	0.421	大崎	32	大崎	4
3	宇野	0.412	音野	19	内田・佐野	1
4	佐野	0.338	津持	16	西村	1
5	内田	0.308	西村	13	森永	1

KOUSEN



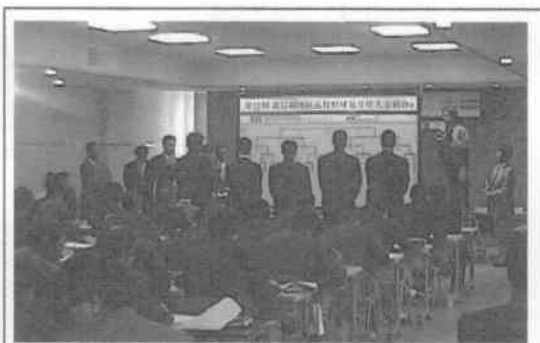
KOUSIEN

愛さえあれば甲子園

Vol. 1 No. 16 1996.4.18

☆☆夏の大会組み合わせ決定・また科技高だ☆☆

いよいよ夏の大会を迎える。1年は早いものだ。佐野が負傷したため、抽選会は異例の代理人がくじを引いた。そして7番。教賀気比のゾーンだ。北陸、大野、武生など強豪5校をしのいで、科技高が6番くじを引いた。科技の宇野監督は「内田・宇野のバッテリーをどう攻略しようか」と早くも牽制球を投げてきた。今年は2回戦が足羽高校になる公算が大だ。足羽は攻撃面は侮れないが、こちらも打ち合いは負けない。ベスト8のチャンスはある。



主将の佐野選手の話：科技には昨年の雪辱を果たす。とくに野性に絶対打たせない。足羽の主将とは友達だ。毎年強いチームを作ってくるが今年はチャンスがある。夏の毛はたくさんあるがリリーフエース佐野と1年の満井の起用がキーポイントだ。内田のがんばりにも期待したい。

通算成績（15勝8敗2分：内公式戦2勝4敗）

順位	選手名	打席	打数	安打	得点	打点	塁打	本	3	2	盗	犠	犠	失	三	四	打率
1	音野	82	66	31	15	19	42	0	3	6	5	4	2	4	4	9	0.47
2	N浅井	13	9	4	3	0	6	0	1	0	0	0	0	1	1	4	0.444
3	大崎	93	76	32	26	32	49	4	1	5	13	2	5	1	7	11	0.421
4	宇野	98	85	35	35	36	85	10	8	2	16	1	2	1	6	11	0.412
5	佐野	100	71	24	25	8	41	1	4	5	4	13	0	10	11	13	0.338
6	内田	51	39	12	7	9	18	1	0	2	0	8	3	2	7	3	0.308
7	津持	120	86	25	34	16	31	0	0	6	6	10	4	15	7	22	0.291
8	西村	109	93	27	20	13	39	1	2	6	2	0	1	2	8	15	0.29
9	森下	38	25	7	10	3	7	0	0	0	1	5	0	5	8	5	0.28
10	かせ田	82	71	19	14	8	24	0	0	5	2	5	1	9	11	8	0.268
11	森永	23	20	5	2	4	8	1	0	0	0	1	0	5	3	2	0.25
12	N吉田	5	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.25
13	堀	73	64	14	8	7	19	0	0	2	1	2	3	0	9	7	0.219
14	大山	41	29	6	7	4	7	0	0	0	1	6	0	3	2	6	0.207
15	石田	37	31	5	5	1	5	0	0	0	1	1	1	8	4	5	0.161
16	梅村	18	14	2	3	1	2	0	0	0	1	1	0	1	1	3	0.143
17	N綾	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
18	N田野	6	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0
19	N巨椋	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
		1,047	833	262	224	173	404	19	19	43	56	61	23	74	103	135	0.315

(第3種郵便物認可)

永昌

井

29校 甲子園懸け激突

①…第79回全国高校野球
選手権福井大会組み合わせ…①

敦賀気比	24日 11:30
武生	20日 10:00
美生	27日 8:30
三方	20日 12:30
足羽	24日 14:00
科学技術	20日 15:00
福井高専	29日 10:00
高志	21日 9:00
武生工業	25日 9:00
大野東	21日 11:30
武生商業	27日 11:00
北陸	21日 14:00
敦賀工業	25日 11:30
丸岡	22日 9:00
鯖江	30日 13:00
福井商業	25日 14:00
大野水	22日 11:30
武生	27日 13:30
丹生	22日 14:00
丹生南	26日 9:00
藤島	23日 9:00
勝山	29日 12:30
若狭	23日 11:30
福井農林	26日 11:30
敦賀	23日 14:00
金津	27日 16:00
春江工業	24日 9:00
福井	26日 14:00

ゴシックはシード校

引き締まった表情でくじを引く各チームの主将



夏の高校野球対戦決まる

気比軸にV争い

1回戦 北陸-敦工 見もの

第七十九回全国高校野球選手権福井大会の組み合わせ抽選会は五日、福井市内のホテルで開かれた。出場29校の対戦カードが決定。いよいよ二十日の開幕を待つばかりとなった。

各校の主将が出席。敦賀気比、福井、福井商、鯖江のシード4校を除いた25校が、予備抽選に続いて本抽選のくじを引き、対戦カードが決定した。

1回戦の注目カードは、今大会のダークホースとされる北陸と、三季連続ベスト8入りしている敦賀工との激突。この勝者が2回戦で第4シードの鯖江と丸岡の勝者と対戦する。春の県

大会の8強同士の顔合わせとなる三国-足羽なども見逃せない一戦となった。

優勝争いはシード4校中心の展開が予想される。中でも春の県大会、北信越大会をともに制した敦賀気比は、本格派のエース三上に加え、控えの清水も大きく成長。ベンチ入りメンバーがいずれも高いレベルでレギュラー争いを繰り広げており、優勝候補の筆頭に上げられている。これに続くのが、昨年決勝に進出した福井と福井商。福井は県ナインワン左腕・篠原を中心に、投打のバランスが取れた好チーム。福井商は強力な打線を誇り、松田、安達、中出ら投手陣の踏ん張りがかぎを握るものとみられる。鯖江は主戦・龍崎が練習不足で苦しいが、持ち前の強打で突破口を見たいところ。

開会式は三十日午前九時から、全29校が参加して県営球場で開かれる。選手宣誓は、春江工の橋本武志主将が行う。試合は武生-美方を皮切りに、三十日まですべて県営球場で行われる。順調に進めば、二十七日に4強が決定。休養日の二十八日を挟んで準決勝は二十九日の午前十時と午後零時半から。決勝は三十日午後一時から行われる。

球児らと一層飛躍を

県高野連が50周年祝う



結成50周年を祝った県高野連の記念式典

県高野連の結成五十周年記念式典は五日、福井市内のホテルで開かれた。同連盟の発展に貢献した協会役員、監督らを表彰するとともに、半世紀の歩みを土台に二十一世紀に向けてさらに飛躍していくことを誓った。

歴代の協会役員や各高の監督ら約二百人が出席。県高野連の中野憲利会長が「県の高校球児によるファイトあふれるさわやかなプレーは、県民に深い感銘を与えてきた。二十一世紀に向けて、県高野連もより一層努力していきたい」とあいさつした。

二十年以上のキャリアを持つ協会役員や部長、監督、審判員は永年功労として、十年以上の役員や部長、監督は永年功労として表彰した。永年功労は、今年で三

十年目を迎える丹生高の五島巖監督が代表して中野会長から感謝状などを受け取った。

また、県高野連史編集者の森永忠雄さんと福井連

典に出席のため来福した日

県高野連五十周年記念式典に出席のため来福した日

「福井勢レベル高い」

日本高野連 牧野会長が評価



県高野連50周年式典で講演し、甲子園大会での本県勢の活躍を高く評価する牧野日本高野連会長

野連の牧野直隆会長と田名部和裕事務局長が記念講演を行った。牧野会長は「甲子園で福井県の代表が明るく楽しい野球を見せてくれることを期待します」と話した。

大きな目標達成も夢ではない」とした。

また本県予選に寄せて「勝つことがかりにこだわらず、試合でいかに自己ベストが尽くせるかを心掛けてほしい」と球児たちにエールを送った。

高校野球全体の課題としては、野球が五輪種目に選ばれたことによる国際化対応や肩ひじ障害による選手寿命問題を挙げ「選手が生涯を通じて野球を楽しめるよう、過度の練習を戒めてほしい」と、球児たちのゆとりある高校生活を望んだ。

牧野会長は鹿兒島県出身。昭和五十六年から会長を務め、昨年、野球殿堂入りを果たした。

本高野連の牧野直隆会長（右）は、夏の甲子園大会で本県勢が二年連続ベスト4入りしたことについて「高く評価したい」と話した。

牧野会長は「近年、全国的に力が接近している中で、一昨年は敦賀気比、昨年は福井商がベスト4入りしたレベルの高さは評価に値する。両校とも投手力が優れ、守りがしっかりしていた印象がある。打力にいまひとつ力強さがあれば、

紬田

反省と考察

▷武商戰

⑪ 1打席目：ロー(ワンバシング)から、ストレート(か打たない)でこの塁上にサヤあみか、が来たので、手で出し、ひかれてしまった。同じケースがこの夜も数回あった。こちらからは、あみかや、また打ちに行く(左へ)、という気持ちで打席に入る。

5打原目: 3打原目に一本出た上、四打原目も感じは悪くなかったので自信満々で打
入れた。やはり一本出ると気持ち全々違う。常に二の打ち気持ちでぶつけた入る様、
自信が下る。

④ 8回ウ。V-アウトからエラーを2つしてした(1かもタビリ-エラー)。特に2つ目は、トナ
最悪の打てた。膝がせと低い位置と似た打球であった。

▷舞鶴高專義

④ 5打席中3打席は2球目、1打席は初球失敗、初球を打たず打球はゴロと捕ま
た。他はゴロゴロとゴロが内野フライだが、積極的と熱い早打とは違ふとい
う大要がある。

△試工戦

④この日は、引いた打球がなく、素直にバ・テイクができた。第4打席は、カーブを左でとってこけてきた。試合でカーブを打てたのは初めて。これはおそらく初めての経験。読者は、このカーブを打つことが自信がついた。

▷ 武東戰

① 前の東工業戦で右肘を打て、調子から外れて、2打席目はD.B. への初球
 外に打ちかと思ひ打ちに失敗、高めのボール球であった。バットが折れている、というそ
 うでゴロであった。建造のかたきと燃えてしまったのが、佐野のD.B. の後起りの三塁打
 木守野云々君とは違い、凄い。

▷ 4-5年戰

① 1打席目、ベンチから見ていたもので様子をおおて見ていたら、2球目に主審からの外れ球が、前の塁側とすたさした。やはり、外れ球と見えて1球目とまできいて、見た。
2打席目、打席に入る前部長に「なう打て、フルスイング、まいいがさ」と言われて「なるほど、うか」と思った(名乗ったと思はる)。今までは、なう打て、言われても中盤で1打つことなど考えていたが、案にだてた外れ球が、これからの外れ球持たず打席に入る。

佐野

この5試合で取った点は、攻撃面では、残塁が強いこと。
vs武蔵は、vs鶴岡では10。その他の試合でも5以上ある。そして、
出塁が強いということも言うけど、out からでも取ったというバントを
もどかした。あとは、サード、試合前にしっかり確認し、試合中は、
その時の状況を考え、何かあるかを常に頭に入れておくことにより、見おとし
をなす。良い点では、先取点をとり、その後も追加点を重ねるこ
ができたこと。バントも比較的にうまくできていたように思う。

準備面では、エラーや四死球によって出塁させたランナーは、得点におぼろげなことがある。この5試合でもそんな場面が目立った。ランナーがいるときはもちろん、ランナーがいないときの不用意なエラー、四死球には十分注意が必要だ。ランナーが1塁や2塁で、エンドランをかけられたときの対応がすごく難しかった。これは自分の大きな課題であり、この場面で想定した練習が足りず、牽制の練習も必要。特に2年生バッテリー、

それ以外の点では、1・2年生に元気がないと、試合中ではなかなかに声が出てない。もっと積極的になってほしい。あと、調子が悪くてもミス味ときどき1人だけ、現人では未だ未だあること。これは千代の問題も悪くなってしまうので、気持ちにはわかるけど、表に出さずこらえることも必要だと思ふ。

これから練習では、ランを777の試合で想定した攻撃・守備の練習が必要だと思ふ。速球に対応するためのマシンによるバッティングも、去年は少し遅かたと思うので、そろそろ始めたい。バッティングは、いろいろな面がかかるので、平日は攻撃だけの日、守備だけの日とわけて練習すると量の内実も濃くなっていると思ふ。

5/31 高専 12 武蔵

高專	3	0	1	3	0	1	0	0	1	9
武大	2	2	2	2	3	0	0	7	x	18

反省点

- ・投手のコントロールが悪い。(コースに投げ分けれるようにする)
- ・2アウトセオ、セオが豊富だ。
- ・盗塁者が少ない。足のつかない攻撃ができてきた。
- ・投手が苦しいときとばかりの内野があと投手に声をかける。
- ・セカンドはいい。(要永)

二れからの練習

- ・ 椅子は、フットンク練習をし、かりとする。(特に森永)
- ・ 遊星、ヒールエドラン、相手の字備りスオをついた在星の練習
- ・ ちと精神所に強くなる。
- ・ ヤカントけんせいの練習(森永)

今後どのような練習をしたらいいか。

- 1) エンドランの準備 (対武商戦II)
(ショート、セカンドの動き)
- 2) 変化球の右方向への打ち方 (対武商戦II)
- 3) サインをつけた攻撃 (対舞鶴1戦II)
- 4) けん制の練習 (対武工戦II)
(ボックス・ランナー)
- 5) 盗球も正確に取る (対武工戦II)
(落地点に早く入る、両手で取る)
- 6) 1球1球の打球に集中する (対武工戦II)
- 7) W.P.R.P.のときに次の塁をわらう、走る (対武商戦II)
- 8) エンドランやバント攻撃の練習
- 9) グッブーの練習 (6-4-3): ランナーをつかて走る

早野元喜

- 1). ケが1時間のフランクをうめる。
特にコントロールに気をつける。

- 2) テンポに気をつけて投球する

BY 内田武志

あつては

29校の戦力図

5



エース復活 守備も向上

チーム打率は3割3分。中でも先頭音野は5割4分と高打率を誇る。長打力のある宇野、好不

5試合 2勝 3敗

総得点	35点(7.0)
総失点	30点(6.0)
安打	54本(10.8)
打率	.333
二塁打	13本
三塁打	3本
本塁打	2本
三振	34個(6.8)
四死球	15個(3.0)
盗塁	4個(0.8)
失策	12個(2.4)

※数字は昨秋以降の
公式戦。カッコ内は
1試合平均。

調の波のない大崎、打ち分けができる西村のクリンアップも力をつけ、打線がつかねれば大量得点が期待できる。

自信を付けている。自分たちで流れをつかみ、試合展開を考えるやり方が分かりかけてきたようだ。まずは初戦を突破し、波に乗りたい。

マネジャーから

100

が復活。課題の制球力克服に向け、投げ込みも本格的になってきた。ただ控えの層の薄さが気がかり。失点をどれだけ抑えられるかが勝敗の力金を握る。



こん 春の大
会からチー
ムの雰囲気
がぐんと良
くなり、練

くなり、練習試合でも気合が入って

守備は内外野ともリズムが良くなってきた。部員が少ない分四、五年生とともに走者を置いた練習に励んでいる。

春の大会以降ナインは

習試合でも気合が入っている。故障者が増えているのがちよつと心配。三年生はこれまで頑張ってきたことを精いっぱい發揮して一回でも多く笑って校歌を歌おうね。

部長	奧村充司	右	3	武生三
監督	奧村充司	右	3	武生一
内	志喜	右	3	武生三
野	元幸	左	3	武生上
田	憲琢	右	3	田生六
野	純規	右	3	社
持	善規	右	3	足羽一
佐	健造	右	2	丸岡
野	雅勉	右	2	社
堀	勉	左	2	織田
崎	道昭	右	3	安
村	亮介	左	2	見
石	德雄	右	2	武生一
永	博和	右	1	武生三
下	佑晃	右	1	明
井	秀晃	右	1	道
野	浩之	右	1	長
吉	宏和	右	1	西
山	裕務	右	1	
大		右	1	
巨		右	1	
椋		右	1	

ちっぴり

29校の戦力図

9



得点力ある若いチーム

十八人のうち十一人が
一年生という若いチー
ム。三、四番を中心とし
た打撃陣は力があるだけ

科 技

4試合1勝3敗

総得点	15点(3.8)
総失点	27点(6.8)
安打	32本(8)
打率	.212
二塁打	3本
三塁打	1本
本塁打	0本
三振	16個(4.0)
四死球	11個(2.8)
盗塁	8個(2.0)
失策	7個(1.8)

※数字は昨秋以降の公式戦。カッコ内は1試合平均。

部	市長	監督	投手	捕手	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
部	市長	監督	投手	捕手	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百

に、投手の出来が試合を左右しよう。
攻撃は松山、山下の俊足、二番コンビが出塁し、長打力のある田畑、野住の三、四番でかえすパターン。上位打線でチャンスを実にものに、下位打線が奮起すれば大量得点も狙える。
チーム浮沈のカギを握るのはエース黒田。ストレーターの威力は十分だが、カーブとのコンビネーションが課題。二人の控え投手はいずれも一年生だが、黒田の調子によつては出番もある。三人で粘り強く投げ抜き、打線の援護を待つ。



本多麻友美さん 一年生が多いけど、三年生がみんなをうまくまと

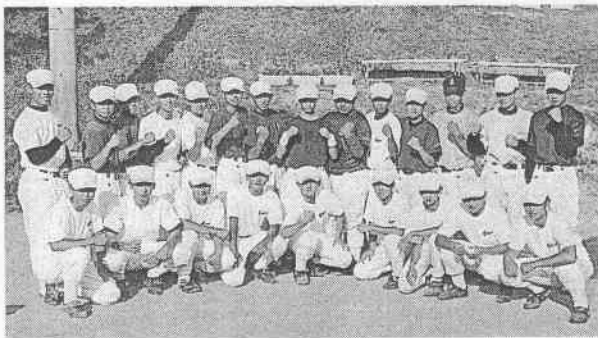
メジャーから

守備は、実戦慣れしていない一年生に不安がある。三塁手・野住ら上級生がサポートし、投手陣の足を引っ張らないようにしたい。

ちっぴり

29校の戦力図

7



走攻守に安定、継投カギ

際だつて優れた選手は少ないが、それぞれが攻走守をソツこなこなす。八本監督の願いは「本番

足 羽

9試合5勝4敗

総得点	55点(6.1)
総失点	73点(8.1)
安打	79本(8.8)
打率	.280
二塁打	10本
三塁打	6本
本塁打	1本
三振	53個(5.9)
四死球	44個(4.9)
盗塁	34個(3.8)
失策	21個(2.3)

※数字は昨秋以降の公式戦。カッコ内は1試合平均。

部	市長	監督	投手	捕手	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
部	市長	監督	投手	捕手	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百

で練習通りの力が出せれば。総合力で勝負をかける。
投手陣は、春の大会を一人で投げ抜いたエース・広瀬、唯一の左投手・高橋、キレの良い変化球が武器の下手投げ・山田、速球勝負の斉藤の四人。うまく継投して失点を3点以内に抑えれば勝機も開けてくる。
攻撃では一番・笠島、二番・嶋田、五番・玉木の俊足トリオが、どんな欲に次の塁を狙う。三、四番の石川、広瀬は好機に強く大きな得点源。下位打線は球に食いついていく粘りを信条とする。
守備は内外野ともまと



宮本紗矢香さん マネジャーの仕事をしています。選手たちと一緒に

メジャーから

まってきた。特に外野は守備範囲が広く肩も強い。中継プレーもよく鍛えられており、大きな穴は見当たらない。



※数字は昨秋以降の
公式戦。カッコ内は
1試合平均。

上田俊介さん 投打の

29校の戦力図

(注) 太字は部門別のトップ